

# 第 3 章

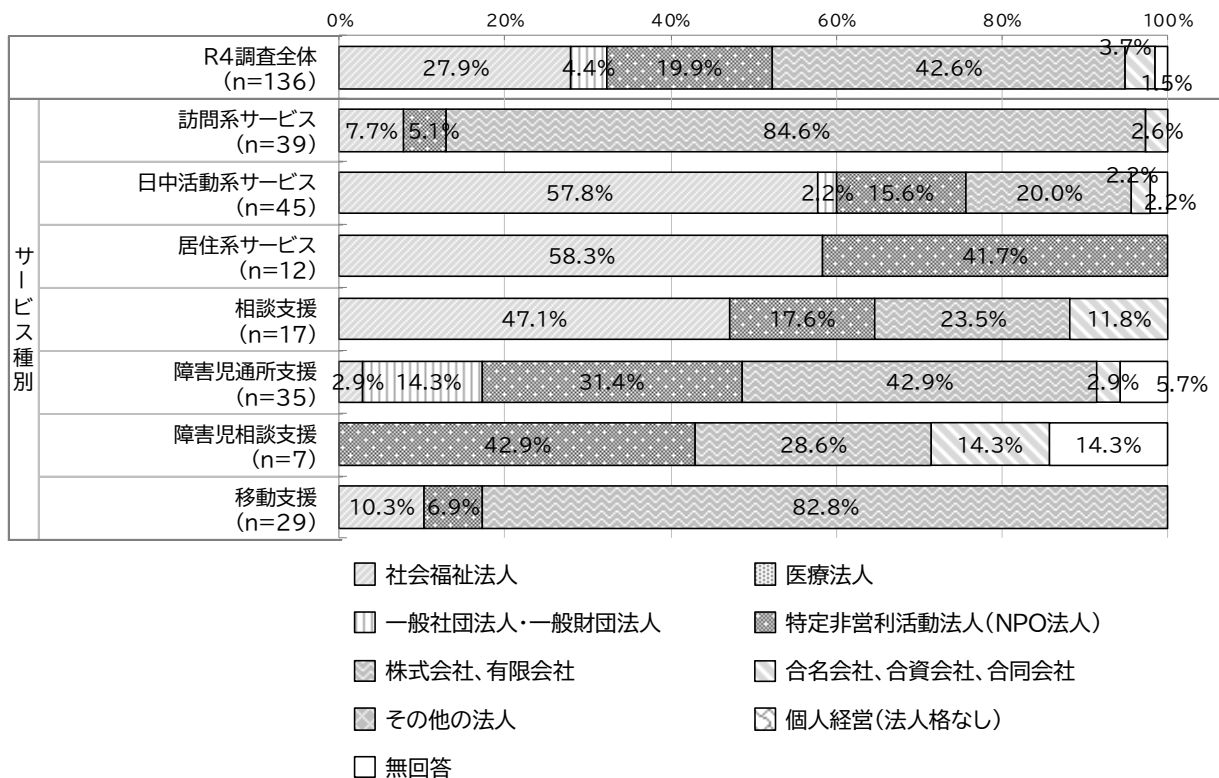
## サービス提供事業所調査

# 1 事業所について

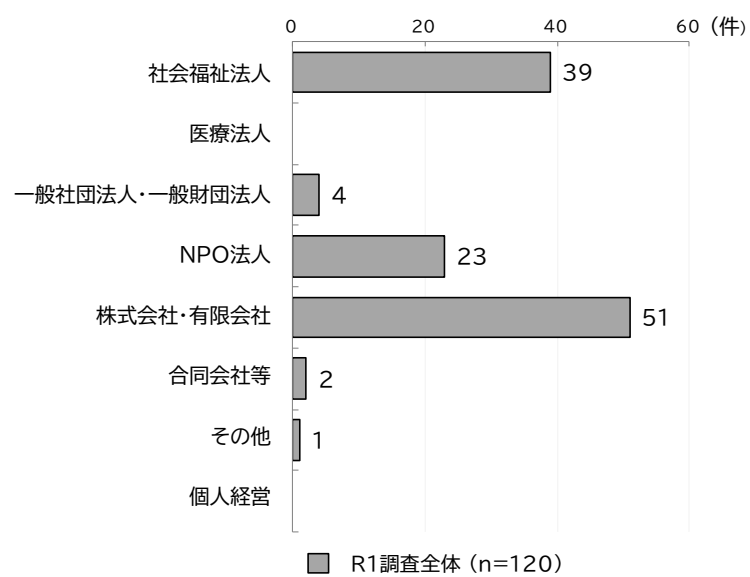
問1. 貴事業所の経営主体について、お聞きします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

事業所の経営主体について、令和4年調査全体では「株式会社、有限会社」が42.6%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が27.9%、「特定非営利活動法人(NPO法人)」が19.9%となっています。

サービス種別ごとにみると、「株式会社、有限会社」が最も高いのは、訪問系サービスで84.6%、移動支援で82.8%、障害児通所支援で42.9%となっています。「社会福祉法人」が最も高いのは、居住系サービスで58.3%、日中活動系サービスで57.8%、相談支援で47.1%となっています。「特定非営利活動法人(NPO法人)」が最も高いのは、障害児相談支援で42.9%となっています。



<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>

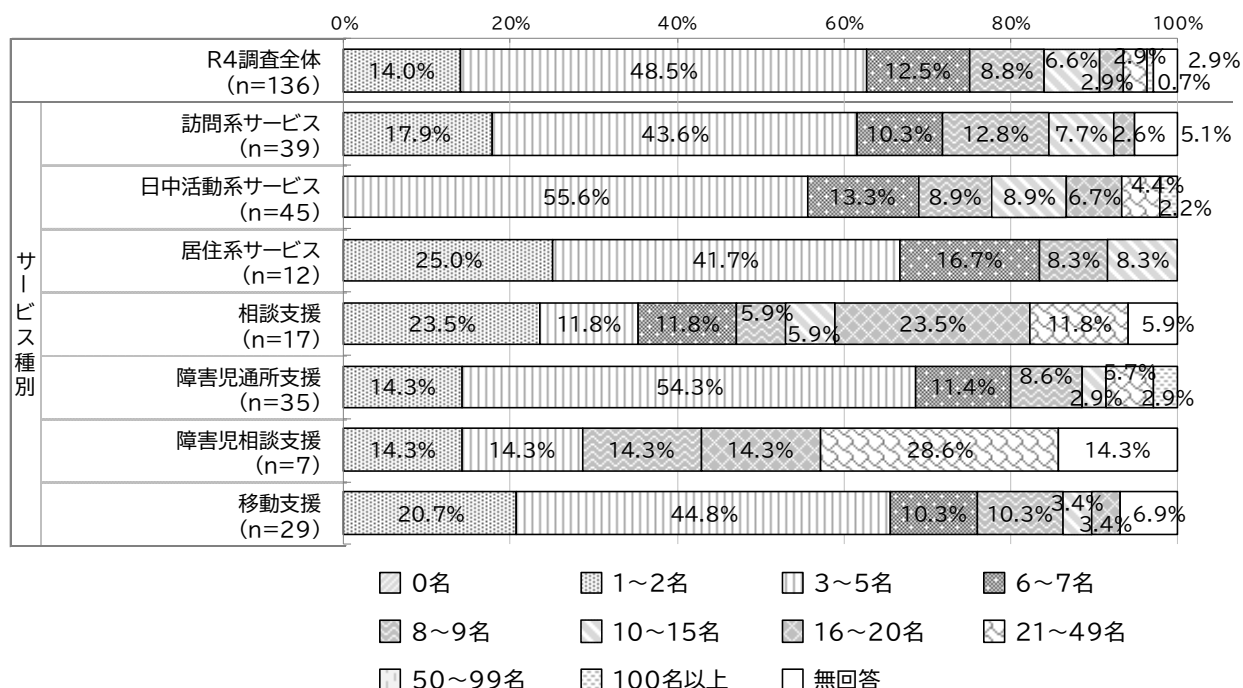


問2. 貴事業所の職員数について、常勤、非常勤のそれぞれに人数を記入してください。

<常勤>

事業所の常勤の職員数について、令和4年調査全体では「3～5名」が48.5%と最も高く、次いで「1～2名」が14.0%、「6～7名」が12.5%となっています。

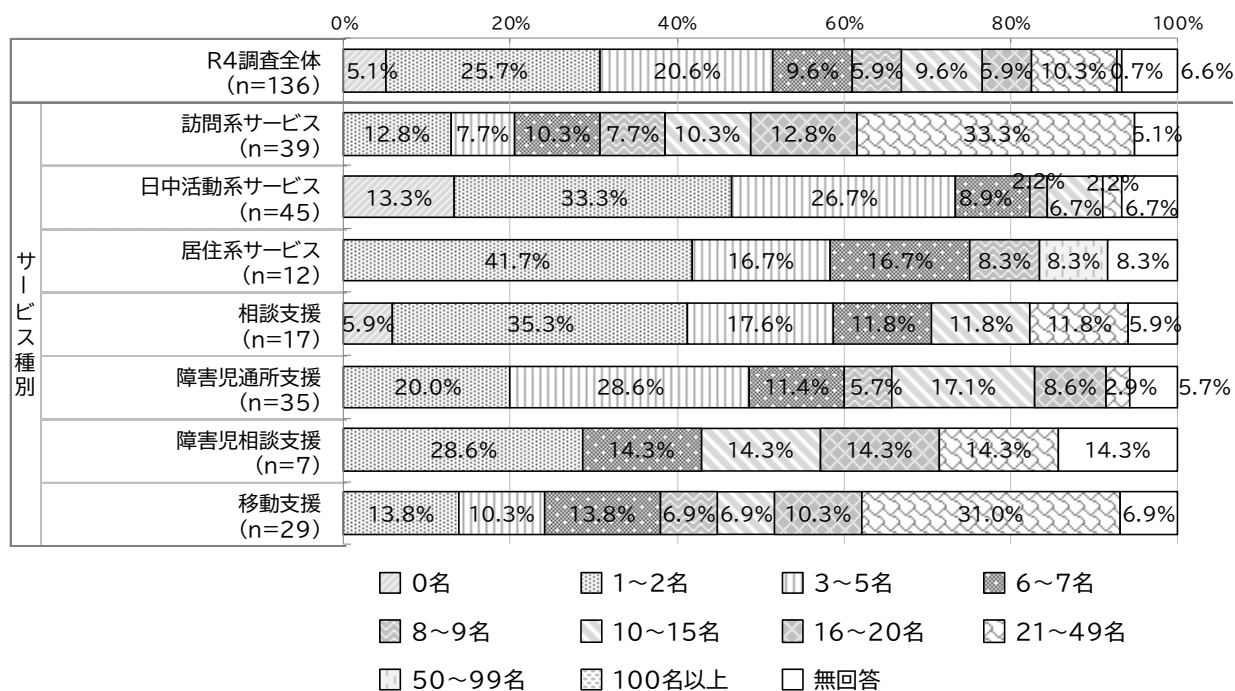
サービス種別ごとにみると、相談支援は「1～2名」「16～20名」が同率で23.5%、障害児相談支援は「21～49名」が28.6%、他のサービス種別は「3～5名」が最も高くなっています。



### <非常勤>

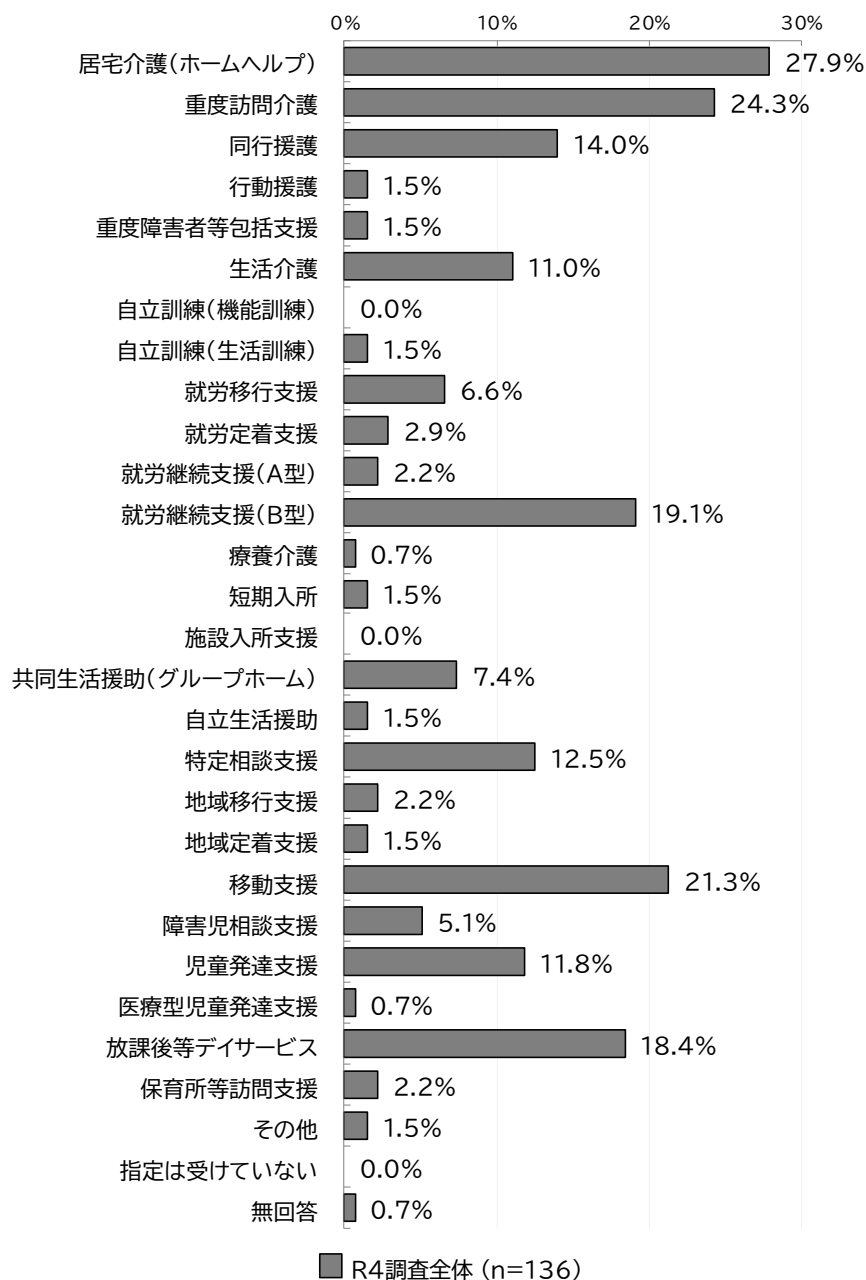
事業所の非常勤の職員数について、令和4年調査全体では「1～2名」が25.7%と最も高く、次いで「3～5名」が20.6%、「21～49名」が10.3%となっています。

サービス種別ごとにみると、訪問系サービスは「21～49名」が33.3%、移動支援は「21～49名」が31.0%、障害児通所支援は「3～5名」が28.6%、他のサービス種別は「1～2名」が最も高くなっています。



問3. 貴事業所が指定を受けているサービスについて、指定を受けているものすべてに○をつけてください。

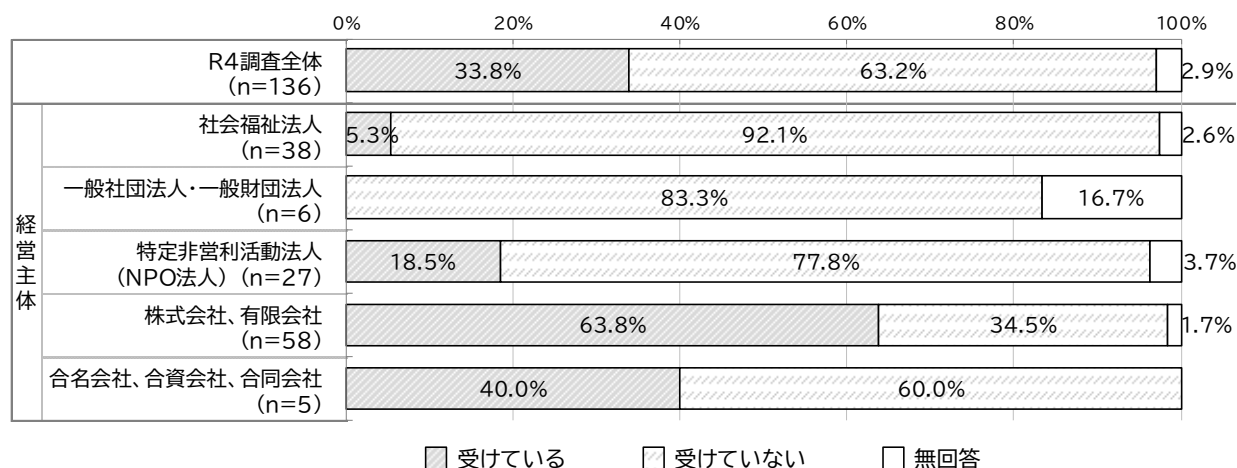
事業所が指定を受けているサービスについて、令和4年調査全体では「居宅介護(ホームヘルプ)」が27.9%と最も高く、次いで「重度訪問介護」が24.3%、「移動支援」が21.3%となっています。



問4. 貴事業所は、介護保険サービスの指定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

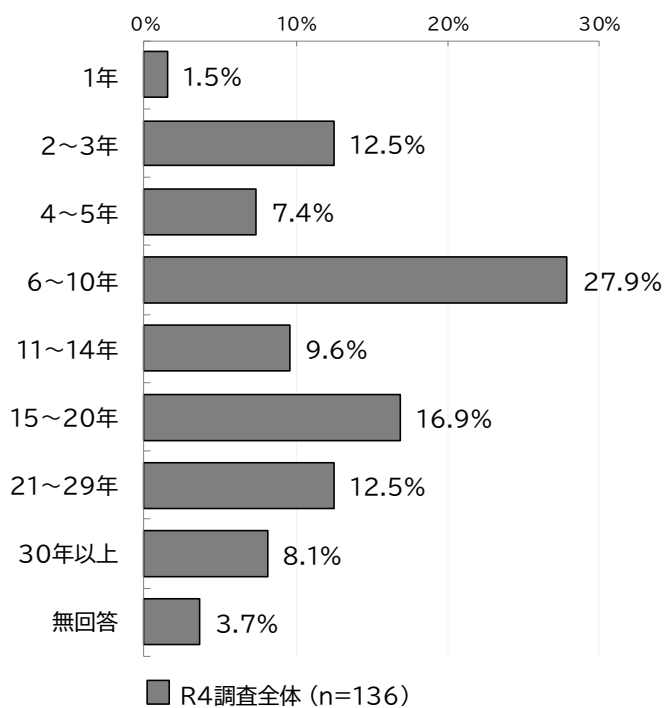
事業所が、介護保険サービスの指定を受けているかについて、令和4年調査全体では「受けていない」が63.2%、「受けている」が33.8%となっています。

経営主体ごとにみると、「受けている」は株式会社、有限会社で63.8%と他の経営主体と比較して高くなっています。



問5. 貴事業所の開業年をお聞きします。

事業所の開業からの経過年数について、令和4年調査全体では「6～10年」が27.9%と最も高く、次いで「15～20年」が16.9%、「2～3年」「21～29年」が同率で12.5%となっています。





## 2 サービスの提供について

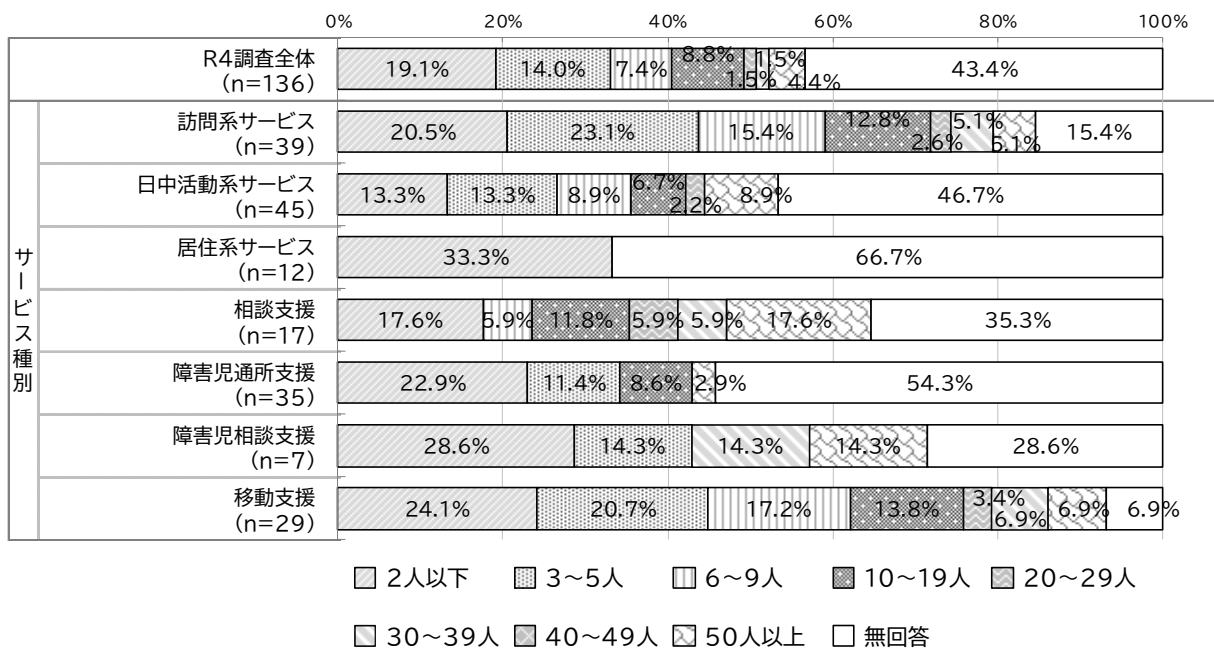
問6. 貴事業所でサービスを提供している利用者数について、障害別に人数を記入してください。また、そのうち児童の人数を記入してください。  
 ※令和4年6月の1か月分の回答をお願いします。

### ア)身体障害

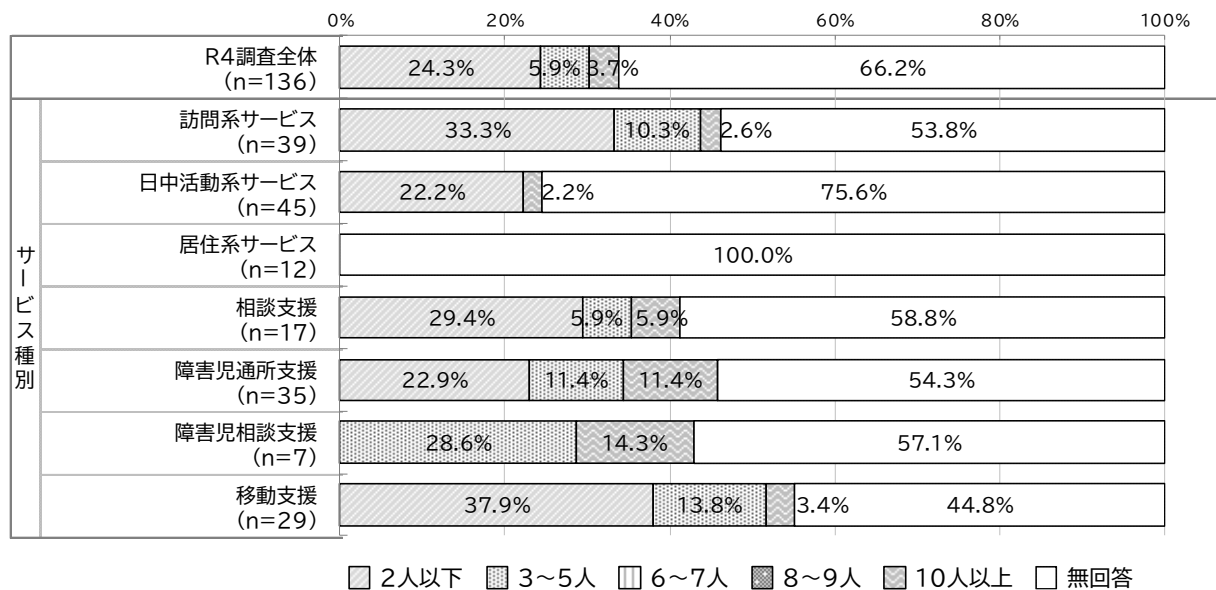
サービスを提供している身体障害の利用者数について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「2人以下」が19.1%と最も高く、次いで「3～5人」が14.0%となっています。また、そのうちの児童の人数については、「2人以下」が24.3%と最も高く、次いで「3～5人」が5.9%となっています。

サービス種別ごとにみると、相談支援で「50人以上」が17.6%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

### 【利用者数】



【うち児童の人数】

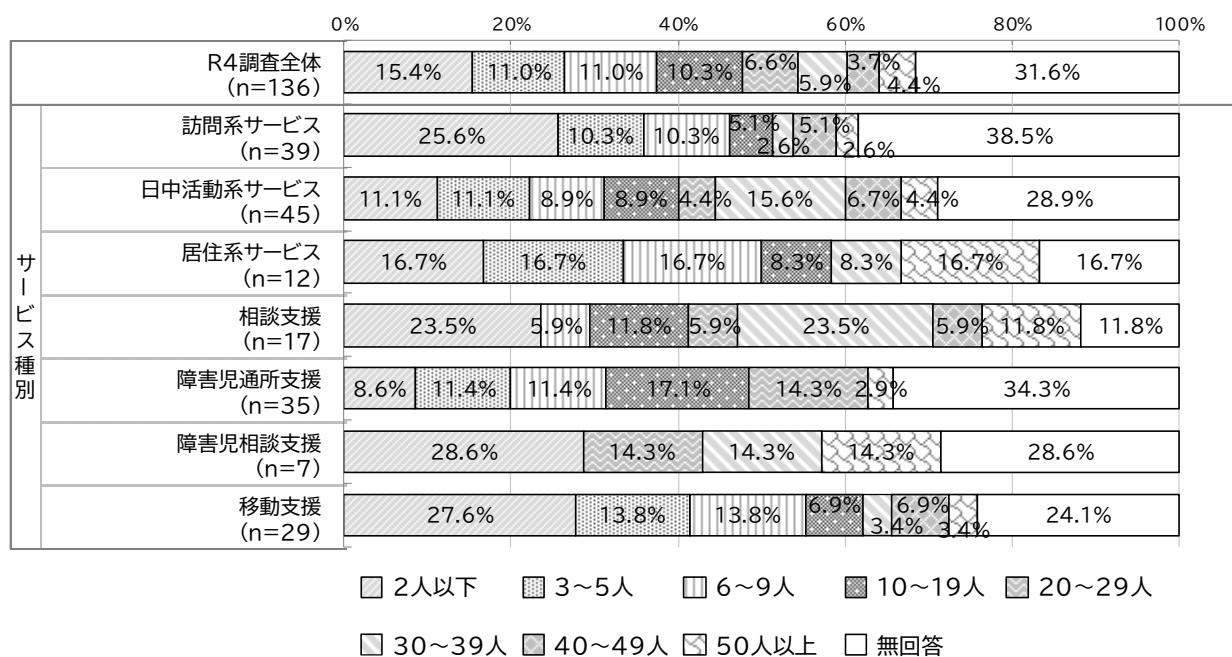


## イ)知的障害

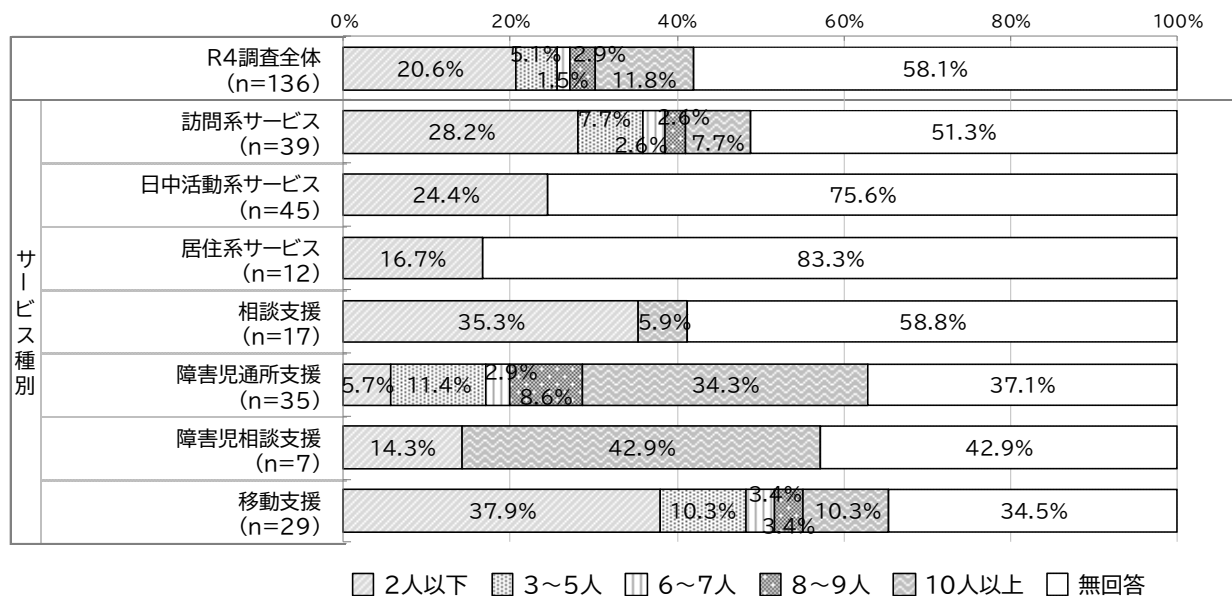
サービスを提供している知的障害の利用者数について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「2人以下」が15.4%と最も高く、次いで「3～5人」「6～9人」が同率で11.0%となっています。また、そのうちの児童の人数については、「2人以下」が20.6%と最も高く、次いで「10人以上」が11.8%となっています。

サービス種別ごとにみると、障害児相談支援と相談支援は20人以上の利用者数の回答割合が多く、その他のサービス種別は20人未満の利用者数の回答割合が多くなっています。また、そのうちの児童の人数については、「10人以上」が障害児相談支援で42.9%、障害児通所支援で34.3%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

### 【利用者数】



### 【うち児童の人数】

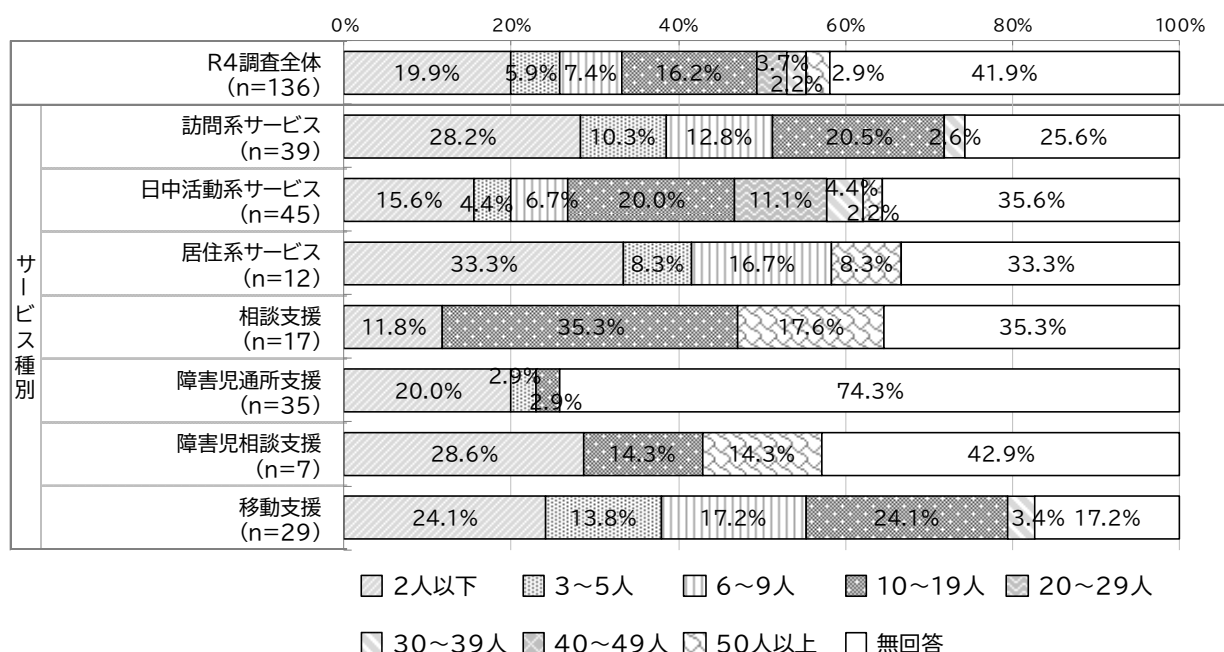


## ウ)精神障害

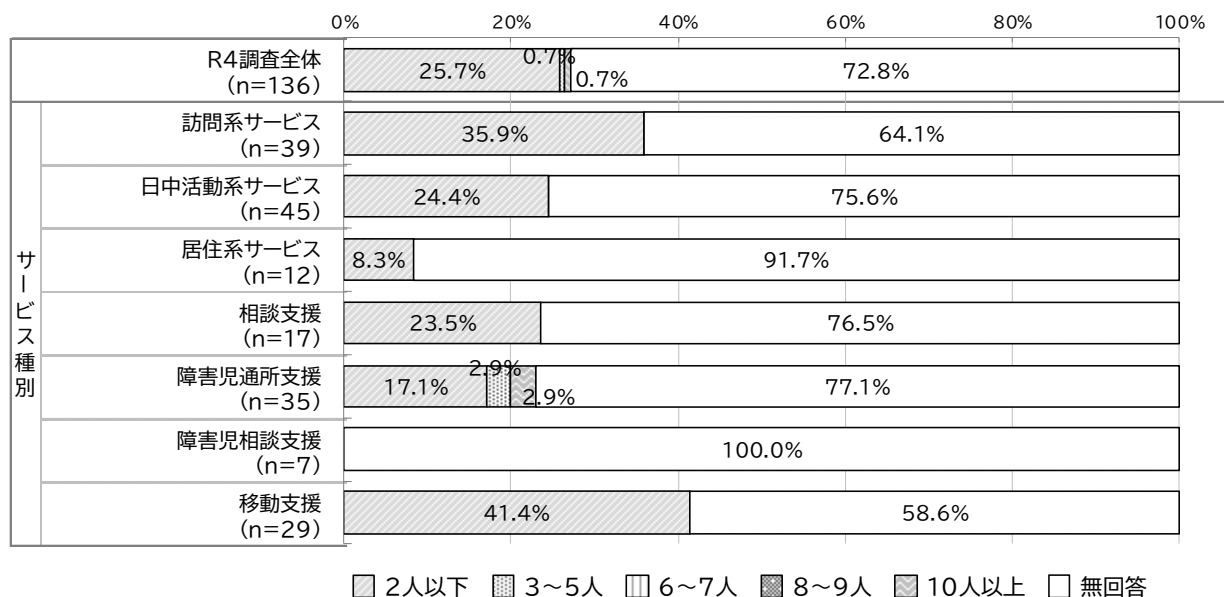
サービスを提供している精神障害の利用者数について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「2人以下」が19.9%と最も高く、次いで「10～19人」が16.2%となっています。また、そのうちの児童の人数については、「2人以下」が25.7%と最も高く、次いで「3～5人」「10人以上」が同率で0.7%となっています。

サービス種別ごとにみると、相談支援で「10～19人」が35.3%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、そのうちの児童の人数については、移動支援で「2人以下」が41.4%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

### 【利用者数】



### 【うち児童の人数】

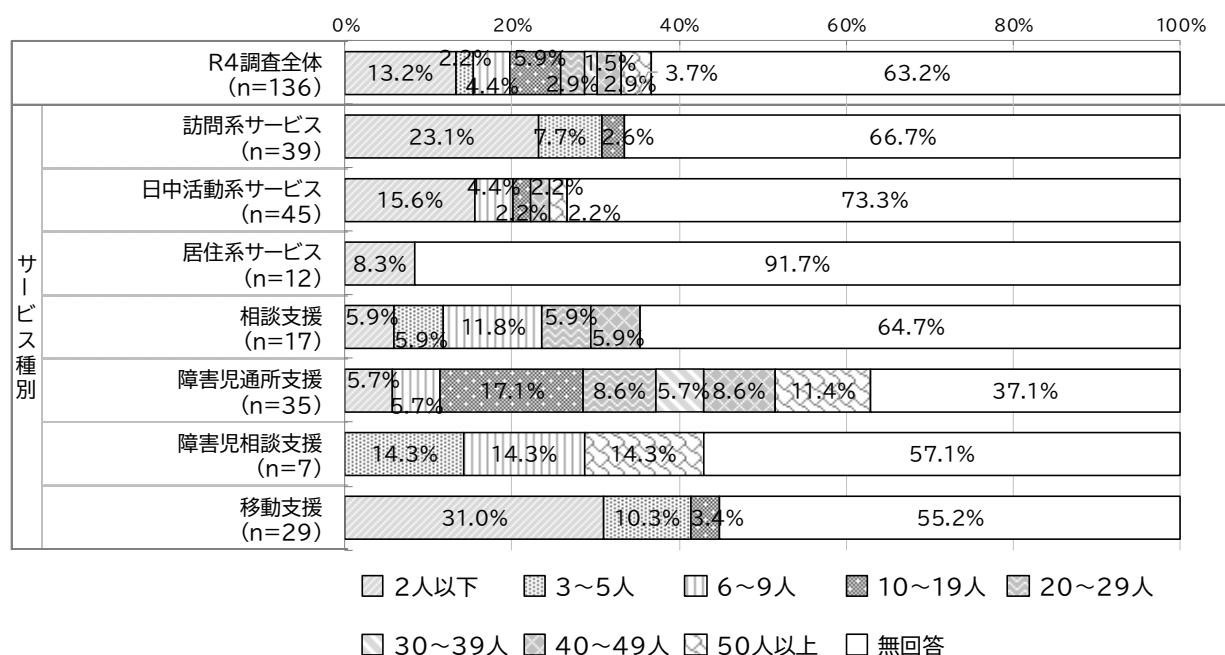


## 工)発達障害

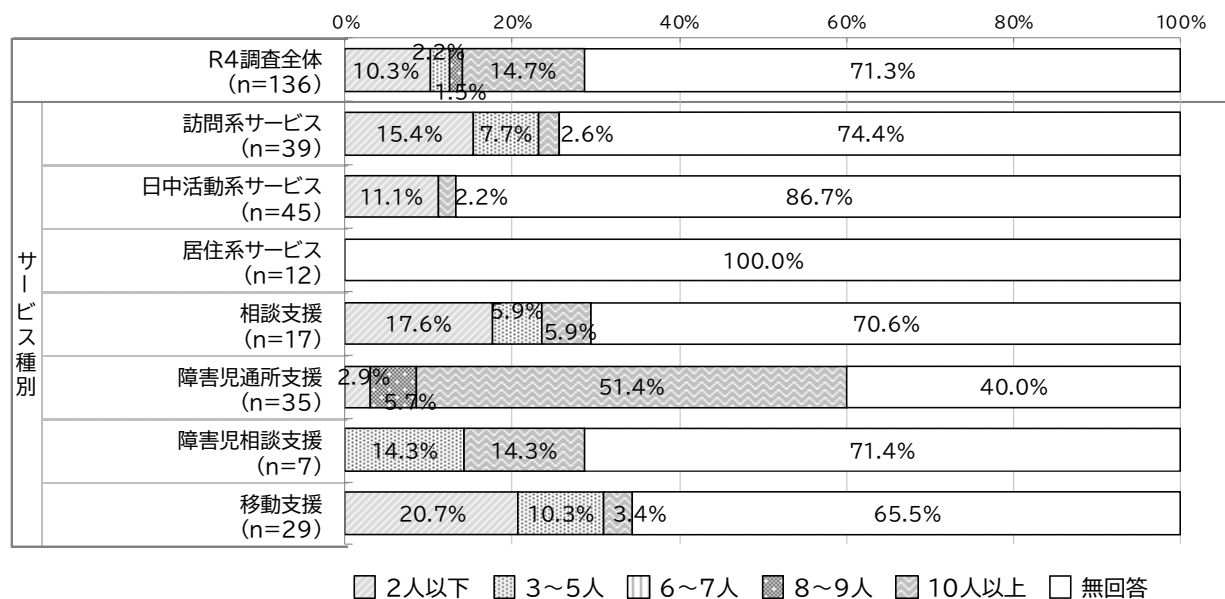
サービスを提供している発達障害の利用者数について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「2人以下」が13.2%と最も高く、次いで「10～19人」が5.9%となっています。また、そのうちの児童の人数については、「10人以上」が14.7%と最も高く、次いで「2人以下」が10.3%となっています。

サービス種別ごとにみると、障害児通所支援で「10～19人」が17.1%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、そのうちの児童の人数については、障害児通所支援で「10人以上」が51.4%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

### 【利用者数】



### 【うち児童の人数】

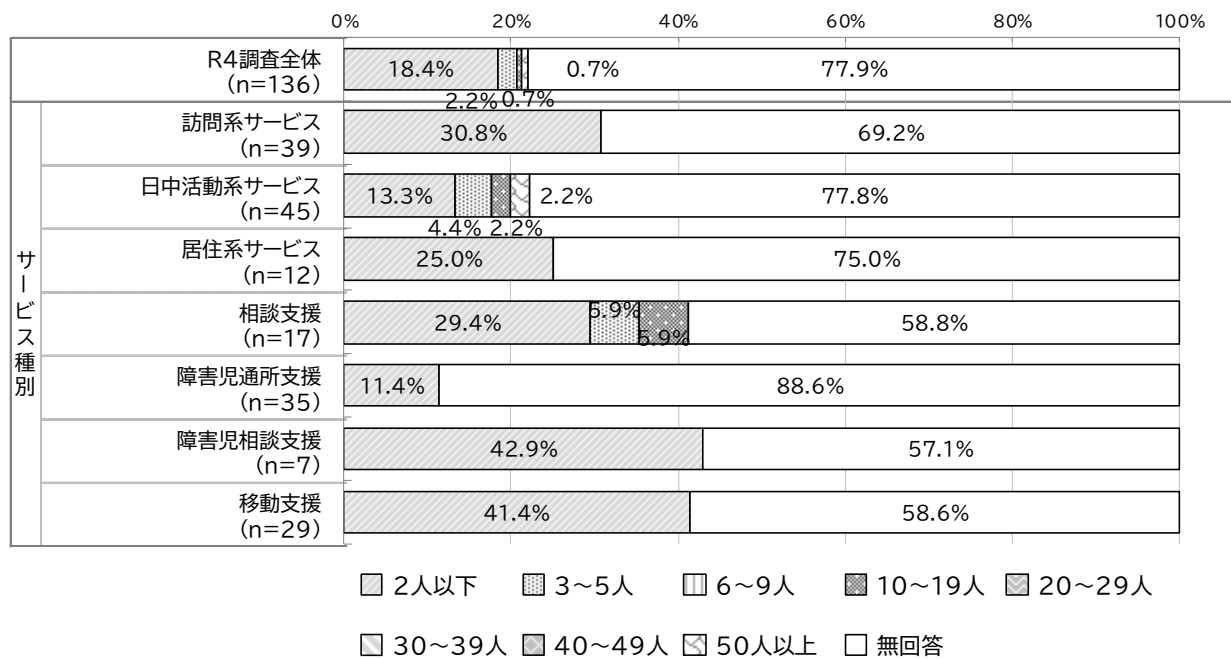


## オ)高次脳機能障害

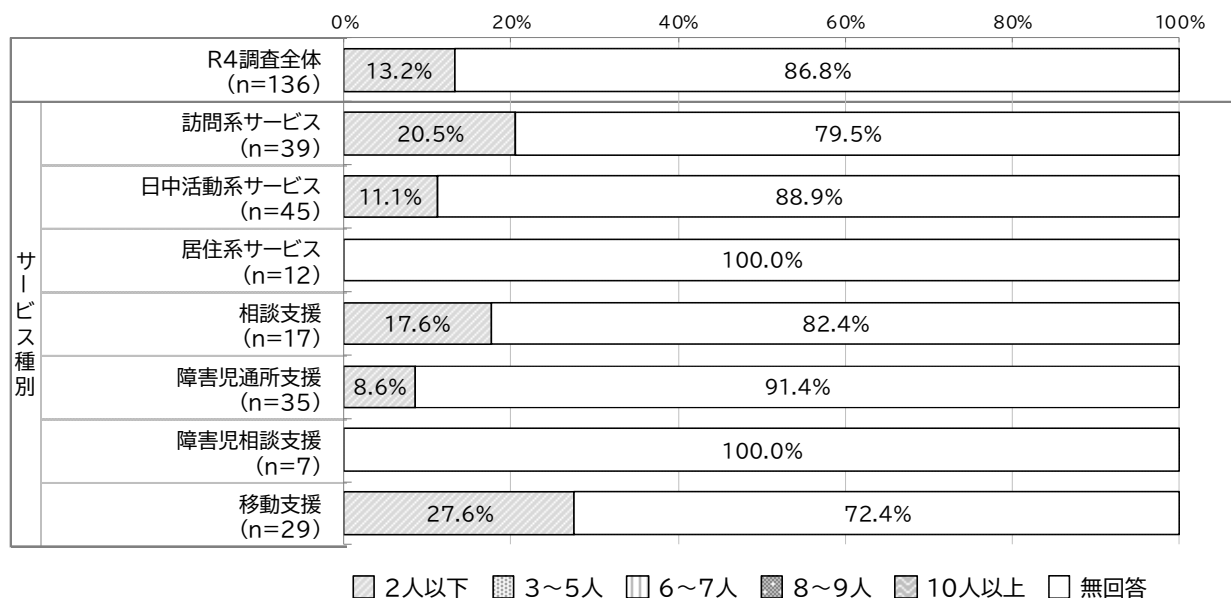
サービスを提供している高次脳機能障害の利用者数について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「2人以下」が18.4%と最も高く、次いで「3～5人」が2.2%となっています。また、そのうちの児童の人数については、「2人以下」が13.2%となっています。

サービス種別ごとにみると、3人以上の利用者数の回答があったのは、日中活動系サービスで「3～5人」が4.4%、「10～19人」が2.2%、「50人以上」が2.2%、相談支援で「3～5人」が5.9%、「10～19人」が5.9%となっています。また、そのうちの児童の人数については、移動支援で「2人以下」が27.6%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

### 【利用者数】



### 【うち児童の人数】

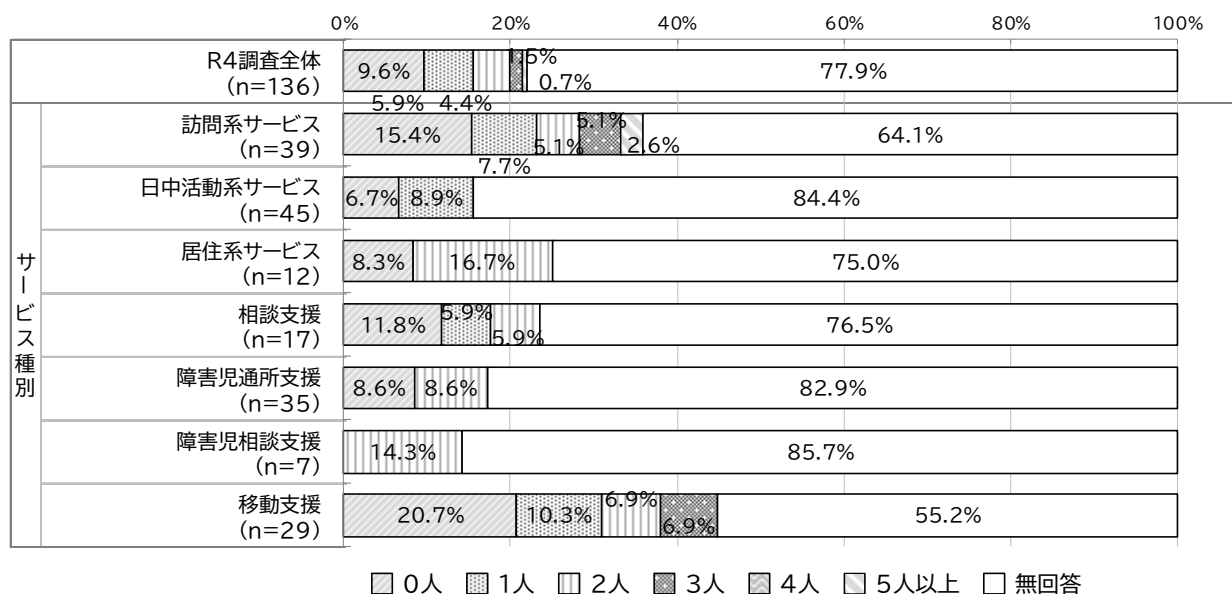


## カ)難病

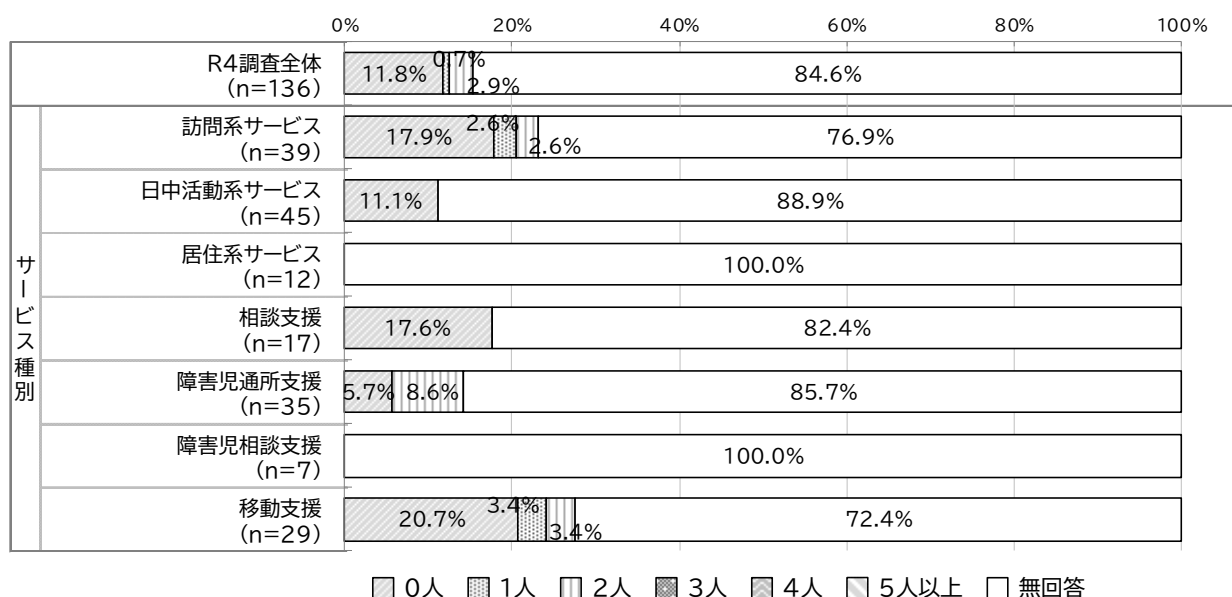
サービスを提供している難病の利用者数について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「0人」が9.6%と最も高く、次いで「1人」が5.9%となっています。また、そのうちの児童の人数については、「0人」が11.8%と最も高く、次いで「2人」が2.9%となっています。

サービス種別ごとにみると、3人以上の利用者数の回答があったのは、訪問系サービスで「3人」が5.1%、「5人以上」が2.6%、移動支援で「3人」が6.9%となっています。また、そのうちの児童の人数については、1人以上の利用者数の回答があったのは、訪問系サービスで「1人」が2.6%、「2人」が2.6%、障害児通所支援で「2人」が8.6%、移動支援で「1人」が3.4%、「2人」が3.4%となっています。

### 【利用者数】



### 【うち児童の人数】



問7. 貴事業所におけるサービスの提供量について、現在の体制で、1か月あたり「**実際に提供している量**」と「**提供可能な量**」の両方について、**時間／人日／人数の数字を記入**してください。

※令和4年6月の1か月分の回答をお願いします。

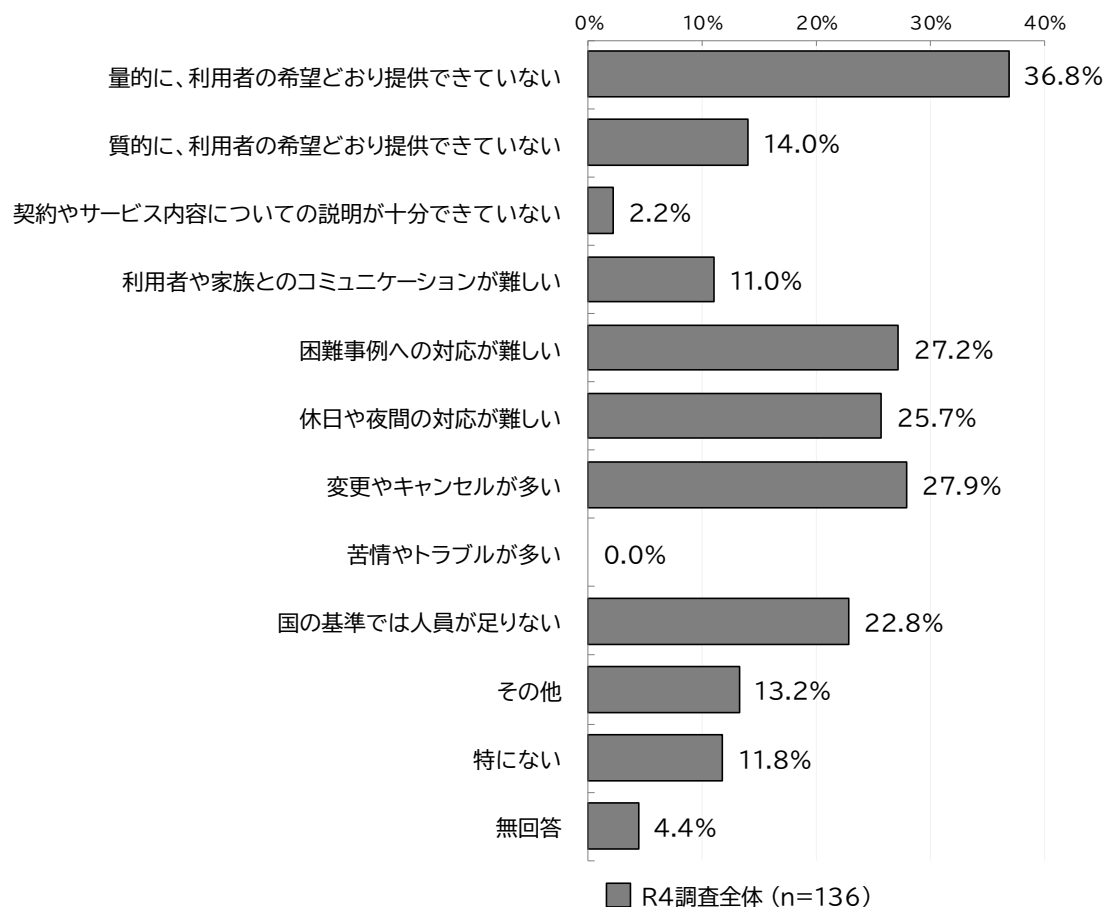
サービスの提供量について、回答があった事業所において「**実際の提供量**」は、概ね「**提供可能な量**」の範囲内となっています。

サービス種別	実際の提供量			提供可能な量		
	事業所数	総量	平均	事業所数	総量	平均
居宅介護(ホームヘルプ)	36	7971 時間	221.4 時間	33	8071 時間	244.6 時間
重度訪問介護	30	5256 時間	175.2 時間	25	5902 時間	236.1 時間
同行援護	24	2333 時間	97.2 時間	20	3706 時間	185.3 時間
行動援護	9	51 時間	5.7 時間	7	52 時間	7.4 時間
重度障害者等包括支援	7	0 時間	0.0 時間	5	0 時間	0.0 時間
生活介護	19	3301 人日	173.7 人日	17	4185 人日	246.2 人日
自立訓練(機能訓練)	7	0 人日	0.0 人日	5	0 人日	0.0 人日
自立訓練(生活訓練)	4	17 人日	4.3 人日	2	20 人日	10.0 人日
就労移行支援	9	557 人日	61.9 人日	6	433 人日	72.2 人日
就労定着支援	6	63 人日	10.5 人日	5	82 人日	16.4 人日
就労継続支援(A型)	5	1428 人日	285.6 人日	4	1492 人日	373.0 人日
就労継続支援(B型)	25	2809 人日	112.4 人日	21	3517 人日	167.5 人日
療養介護	3	2662 人日	887.3 人日	2	2700 人日	1350.0 人日
短期入所	3	392 人日	130.7 人日	2	720 人日	360.0 人日
施設入所支援	2	0 人	0.0 人	1	0 人	0.0 人
共同生活援助(グループホーム)	12	758 人	63.2 人	11	828 人	75.3 人
自立生活援助	4	9 人	2.3 人	3	13 人	4.3 人
特定相談支援	17	307 人	18.1 人	14	383 人	27.4 人
地域移行支援	4	2 人	0.5 人	2	0 人	0.0 人
地域定着支援	3	2 人	0.7 人	1	0 人	0.0 人
移動支援	26	473 人	18.2 人	23	535 人	23.3 人
障害児相談支援	7	50 時間	7.1 時間	5	75 時間	15.0 時間
児童発達支援	15	1176 人日	78.4 人日	14	1425 人日	101.8 人日
医療型児童発達支援	3	29 人日	9.7 人日	2	65 人日	32.5 人日
放課後等デイサービス	26	1093 人日	42.0 人日	25	1082 人日	43.3 人日
保育所等訪問支援	4	22 人日	5.5 人日	3	30 人日	10.0 人日



問8. 貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、該当するものに○をつけてください。(○は3つまで)

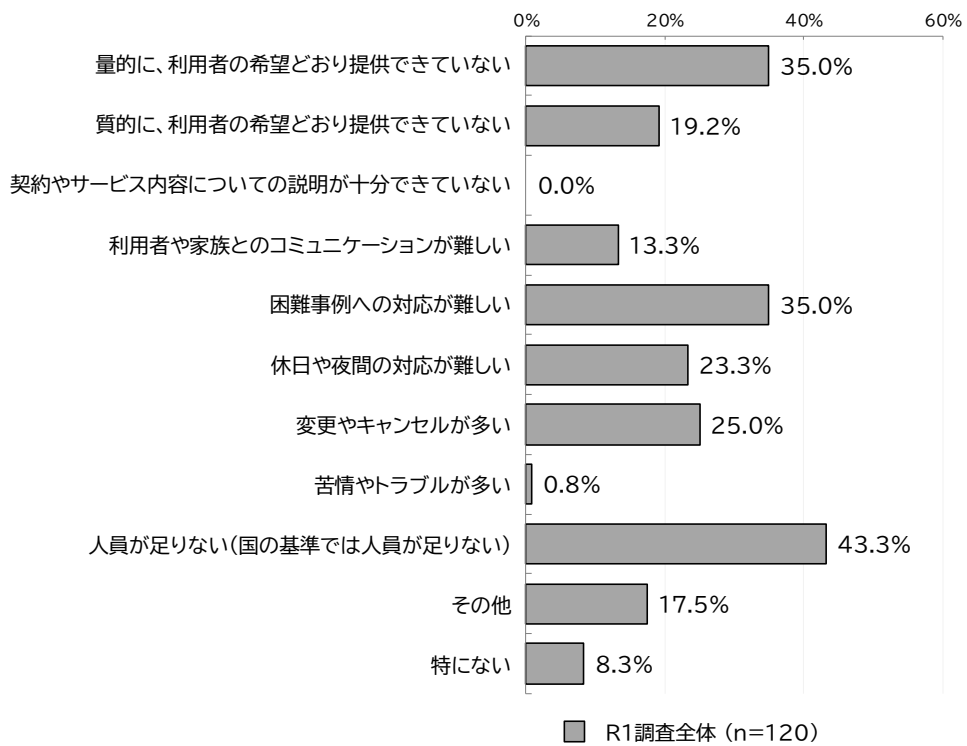
事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、令和4年調査全体では「量的に、利用者の希望どおり提供できていない」が36.8%と最も高く、次いで「変更やキャンセルが多い」が27.9%、「困難事例への対応が難しい」が27.2%となっています。



サービス種別ごとにみると、障害児通所支援で「変更やキャンセルが多い」が54.3%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、「休日や夜間の対応が難しい」が訪問系サービスで59.0%、移動支援で58.6%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

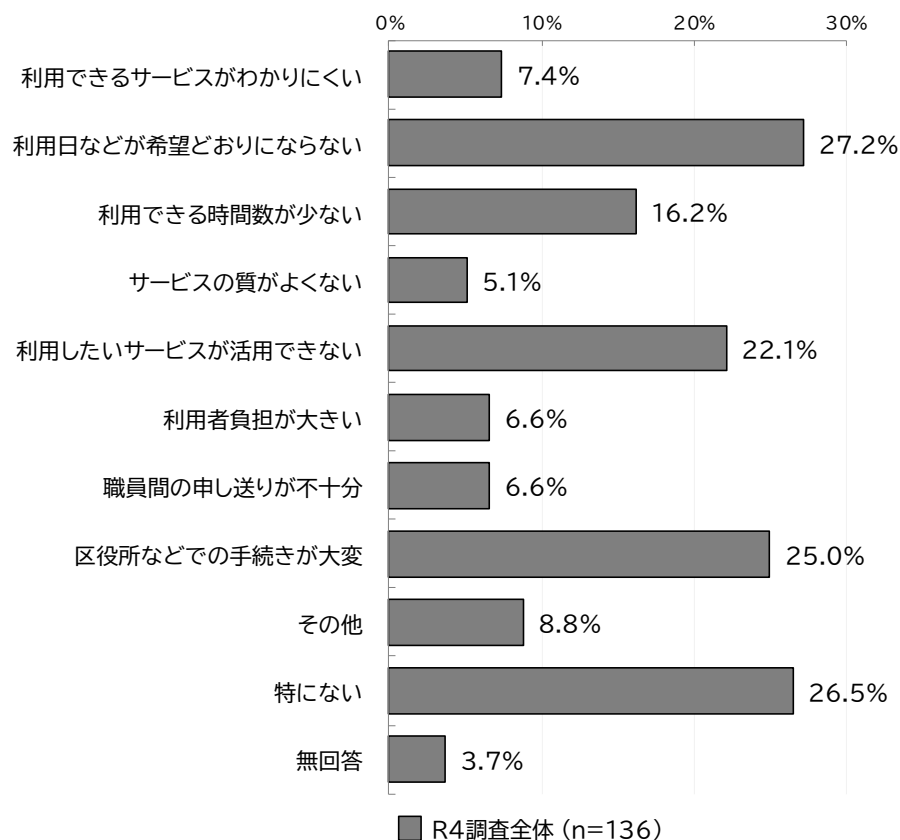
1段目 所 2段目 %	合計	問8. サービスを提供する上での課題												
		量的に、利用者の希望どおり提供できない	質的に、利用者の希望どおり提供できない	説明が十分できていない	契約やサービス内容についての	利用者が家族とのコミュニケーションが難しい	困難事例への対応が難しい	休日や夜間の対応が難しい	変更やキャンセルが多い	苦情やトラブルが多い	国の基準では人員が足りない	その他	特にない	無回答
訪問系サービス	39 100.0%	22 56.4	2 5.1	0 0.0	4 10.3	13 33.3	23 59.0	9 23.1	0 0.0	3 7.7	4 10.3	3 7.7	0 0.0	
日中活動系サービス	45 100.0%	9 20.0	9 20.0	1 2.2	6 13.3	12 26.7	4 8.9	8 17.8	0 0.0	8 17.8	6 13.3	11 24.4	2 4.4	
居住系サービス	12 100.0%	2 16.7	2 16.7	0 0.0	1 8.3	4 33.3	5 41.7	0 0.0	0 0.0	6 50.0	2 16.7	1 8.3	0 0.0	
相談支援	17 100.0%	5 29.4	3 17.6	0 0.0	2 11.8	10 58.8	3 17.6	4 23.5	0 0.0	3 17.6	3 17.6	2 11.8	0 0.0	
障害児通所支援	35 100.0%	16 45.7	3 8.6	2 5.7	3 8.6	4 11.4	2 5.7	19 54.3	0 0.0	13 37.1	6 17.1	1 2.9	3 8.6	
障害児相談支援	7 100.0%	5 71.4	1 14.3	0 0.0	0 0.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	
移動支援	29 100.0%	19 65.5	2 6.9	0 0.0	3 10.3	8 27.6	17 58.6	5 17.2	0 0.0	2 6.9	4 13.8	2 6.9	0 0.0	

<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



問9. 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族の方から、どのような相談や苦情を受けますことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

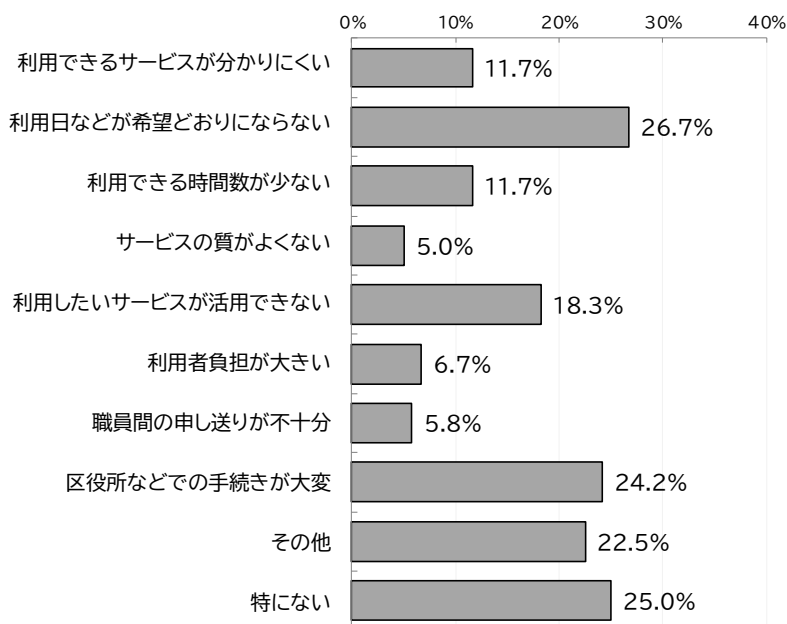
事業所で、利用者やご家族の方からどのような相談や苦情を受けるかについて、令和4年調査全体では「利用日などが希望どおりにならない」が27.2%と最も高く、次いで「特にない」が26.5%、「区役所などでの手続きが大変」が25.0%となっています。



サービス種別ごとにとみると、障害児相談支援で「利用日などが希望どおりにならない」が85.7%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、「利用したいサービスが活用できない」が相談支援で58.8%、障害児相談支援で57.1%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

1段目 所 2段目 %	合計	問9.利用者からの相談や苦情内容											
		利用 でき るサ ービ スが 分 か り に く い	利 用 日 な ど が 希 望 ど お り に な ら な い	利 用 で き る 時 間 数 が 少 な い	サ ー ビ ス の 質 が よ く な い	活 用 し た い サ ー ビ ス が 活 用 で き な い	利 用 者 負 担 が 大 き い	十 分 職 員 間 の 申 し 送 り が 不 十 分	区 役 所 な ど の 手 続 き が 大 変	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
サービス種別	訪問系サービス	39 100.0%	3 7.7	17 43.6	8 20.5	1 2.6	7 17.9	1 2.6	0 0.0	11 28.2	1 2.6	14 35.9	1 2.6
	日中活動系サービス	45 100.0%	4 8.9	3 6.7	5 11.1	4 8.9	8 17.8	5 11.1	5 11.1	14 31.1	4 8.9	13 28.9	3 6.7
	居住系サービス	12 100.0%	2 16.7	2 16.7	1 8.3	0 0.0	2 16.7	3 25.0	3 25.0	4 33.3	0 0.0	3 25.0	0 0.0
	相談支援	17 100.0%	4 23.5	4 23.5	3 17.6	3 17.6	10 58.8	2 11.8	1 5.9	5 29.4	1 5.9	2 11.8	1 5.9
	障害児通所支援	35 100.0%	0 0.0	16 45.7	9 25.7	1 2.9	7 20.0	0 0.0	1 2.9	5 14.3	6 17.1	6 17.1	1 2.9
	障害児相談支援	7 100.0%	1 14.3	6 85.7	3 42.9	1 14.3	4 57.1	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	移動支援	29 100.0%	2 6.9	13 44.8	6 20.7	1 3.4	6 20.7	1 3.4	0 0.0	7 24.1	1 3.4	12 41.4	0 0.0

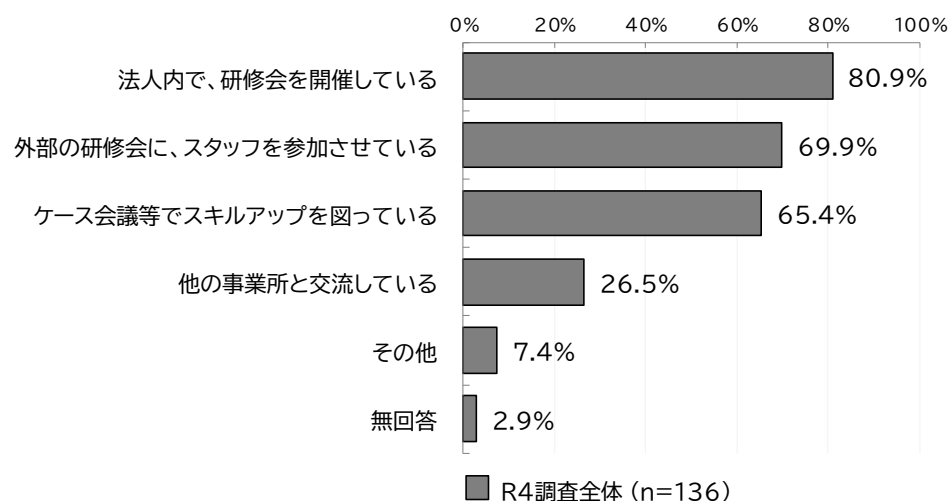
<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



■ R1調査全体 (n=120)

問10. 貴事業所では、スタッフの質の向上など人材を育成するために、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

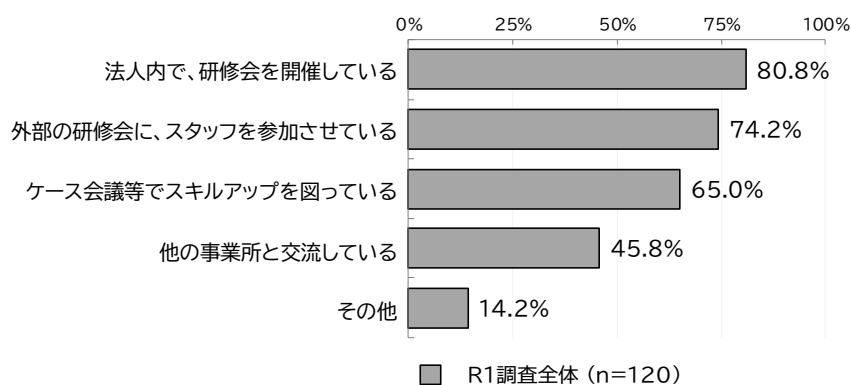
事業所で、スタッフの質の向上など人材を育成するために取り組んでいることについて、令和4年調査全体では「法人内で、研修会を開催している」が80.9%と最も高く、次いで「外部の研修会に、スタッフを参加させている」が69.9%、「ケース会議等でスキルアップを図っている」が65.4%となっています。



サービス種別ごとにみると、居住系サービスで「外部の研修会に、スタッフを参加させている」が91.7%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、障害児通所支援で「ケース会議等でスキルアップを図っている」が82.9%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

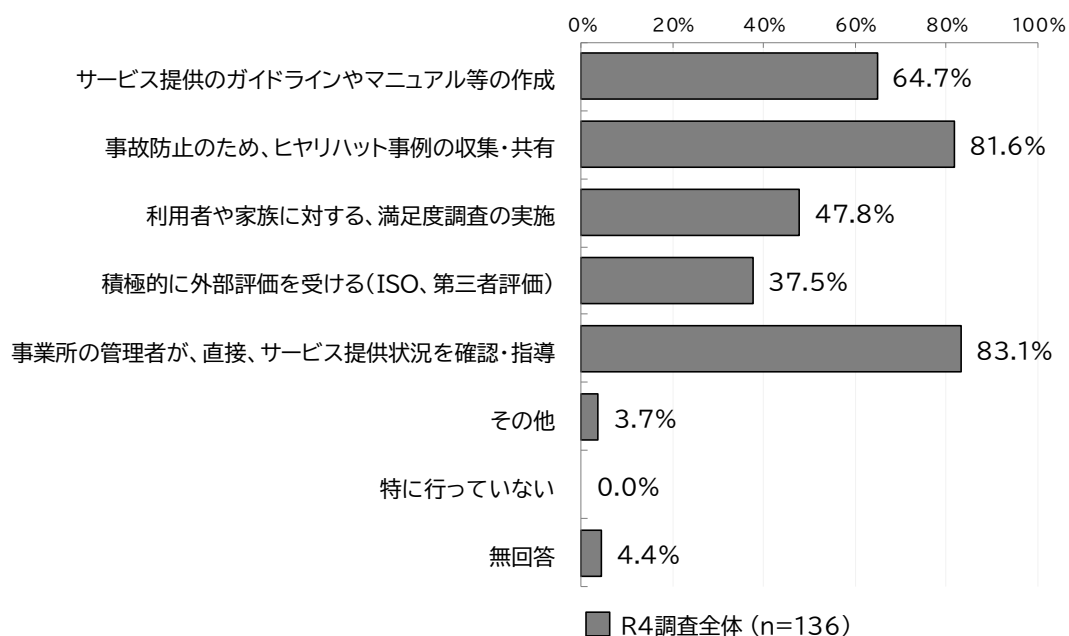
1段目 所 2段目 %	合計	問10.人材育成のための取組						
		て法人内 にいる で、 研修会 を 開催し	を外部 の 研修会 に、 スタッ フ	プ ケ を 図 つ て い る 等 で ス キ ル ア ッ	他 の 事 業 所 と 交 流 し て い る	そ の 他	無 回 答	
サービス種別	訪問系サービス	39 100.0%	33 84.6	15 38.5	18 46.2	2 5.1	2 5.1	1 2.6
	日中活動系サービス	45 100.0%	37 82.2	38 84.4	33 73.3	16 35.6	5 11.1	2 4.4
	居住系サービス	12 100.0%	8 66.7	11 91.7	7 58.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0
	相談支援	17 100.0%	14 82.4	14 82.4	9 52.9	6 35.3	1 5.9	0 0.0
	障害児通所支援	35 100.0%	31 88.6	26 74.3	29 82.9	11 31.4	3 8.6	1 2.9
	障害児相談支援	7 100.0%	5 71.4	5 71.4	4 57.1	2 28.6	1 14.3	0 0.0
	移動支援	29 100.0%	25 86.2	12 41.4	14 48.3	0 0.0	2 6.9	0 0.0

### <参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



問11. (1)貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

事業所で、サービスの質の向上のためにしている取組について、令和4年調査全体では「事業所の管理者が、直接、サービス提供状況を確認・指導」が83.1%と最も高く、次いで「事故防止のため、ヒヤリハット事例の収集・共有」が81.6%、「サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成」が64.7%となっています。

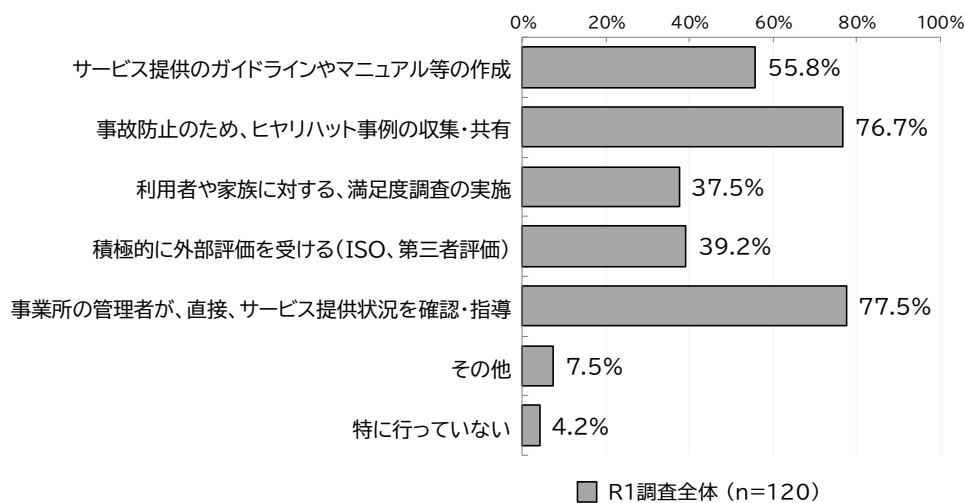




サービス種別ごとにみると、居住系サービスで「積極的に外部評価を受ける(ISO、第三者評価)」が83.3%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、障害児通所支援で「利用者や家族に対する、満足度調査の実施」が82.9%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

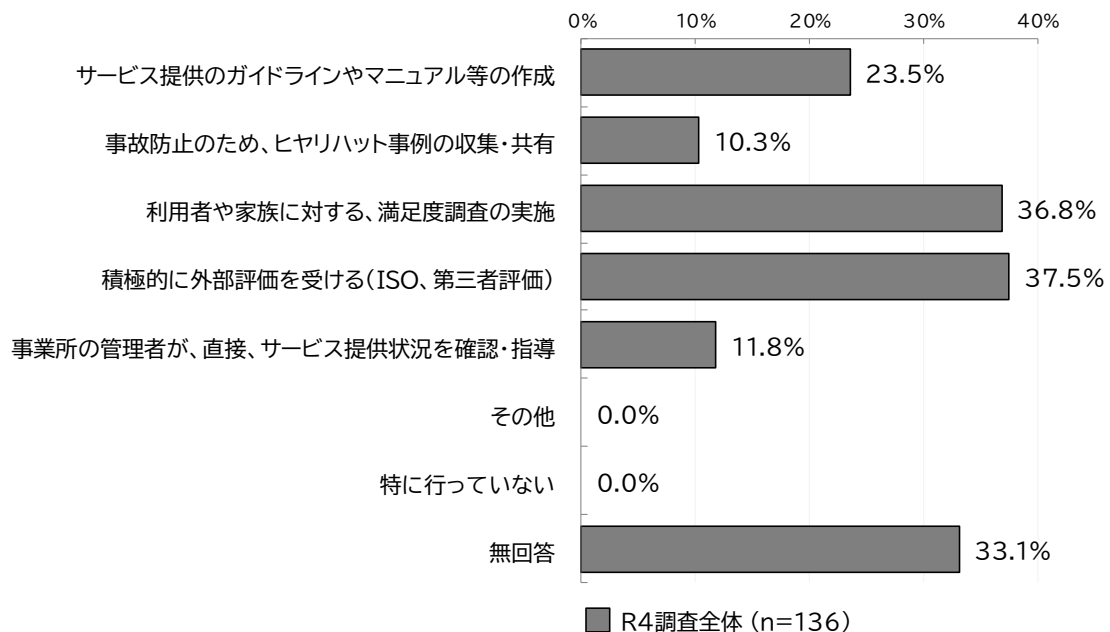
1段目 所 2段目 %	合計	問11.サービスの質向上のための取組(1)現在行っている取組								
		マサ ニ ユ ア ル ス 提 供 の 作 成 の ガ イ ド ラ イ ン ヤ	事 故 防 止 の た め 、 ヒ ヤ リ ハ ツ ト	調 査 の 実 施	利 用 者 や 家 族 に 対 す る 、 満 足 度	S 積 極 的 に 外 部 評 価 を 受 け る ( I )	ビ 事 業 所 の 管 理 者 が 、 直 接 、 サ ー ビ ス 提 供 状 況 を 確 認 ・ 指 導	そ の 他	特 に 行 っ て い な い	無 回 答
サ ー ビ ス 種 別	訪問系サービス	39 100.0%	26 66.7	31 79.5	13 33.3	1 2.6	29 74.4	1 2.6	0 0.0	2 5.1
	日中活動系サービス	45 100.0%	29 64.4	37 82.2	20 44.4	30 66.7	38 84.4	1 2.2	0 0.0	2 4.4
	居住系サービス	12 100.0%	8 66.7	11 91.7	4 33.3	10 83.3	11 91.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0
	相談支援	17 100.0%	11 64.7	13 76.5	7 41.2	5 29.4	11 64.7	1 5.9	0 0.0	1 5.9
	障害児通所支援	35 100.0%	24 68.6	30 85.7	29 82.9	11 31.4	32 91.4	1 2.9	0 0.0	1 2.9
	障害児相談支援	7 100.0%	4 57.1	4 57.1	3 42.9	2 28.6	5 71.4	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	移動支援	29 100.0%	18 62.1	24 82.8	10 34.5	1 3.4	23 79.3	1 3.4	0 0.0	1 3.4

<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



問11. (2)また、今後どのような取組を行っていかうと考えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

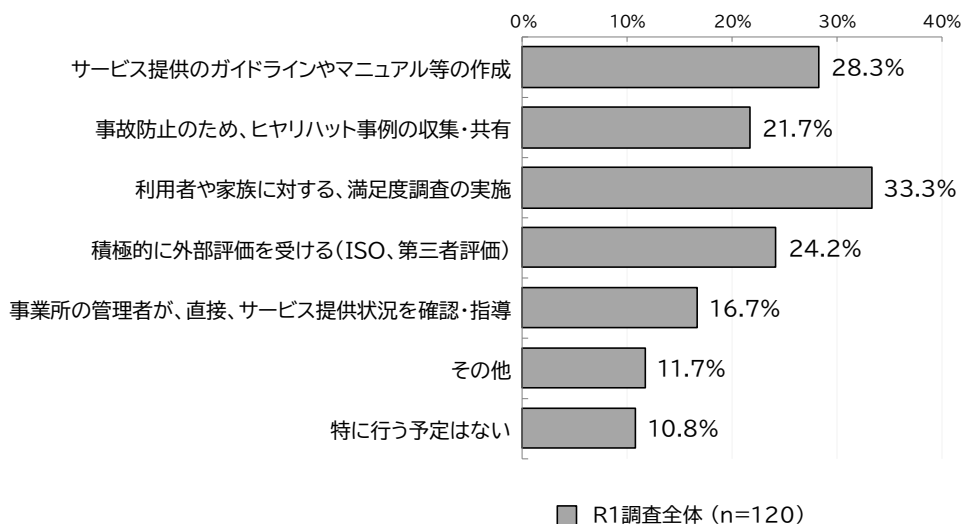
事業所で、サービスの質の向上のために今後行っていこうと考えている取組について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「積極的に外部評価を受ける(ISO、第三者評価)」が37.5%と最も高く、次いで「利用者や家族に対する、満足度調査の実施」が36.8%、「サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成」が23.5%となっています。



サービス種別ごとにみると、居住系サービスで「利用者や家族に対する、満足度調査の実施」が66.7%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

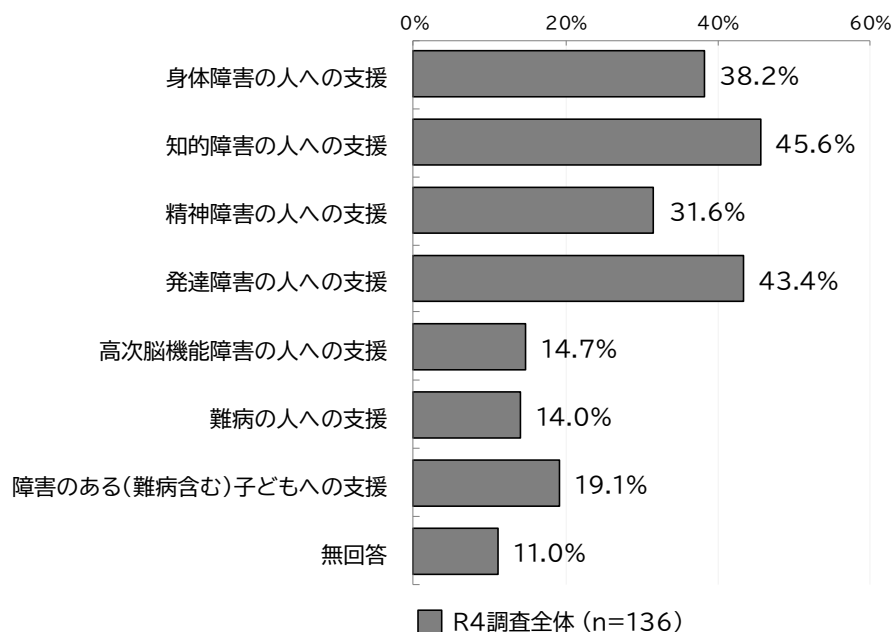
1段目 所 2段目 %	合計	問11.サービスの質向上のための取組(2)今後行いたい取組								
		マ サ ニ ユ ビ ス ア ル 等 の 作 成 の ガ イ ド ラ イ ン ヤ	事 故 防 止 の た め 、 ヒ ヤ リ ハ ツ ト	調 査 の 実 施	利 用 者 や 家 族 に 対 す る 、 満 足 度	S 積 極 的 に 外 部 評 価 を 受 け る (I S O 、 第 三 者 評 価 )	ビ ジ ネ ス の 管 理 者 が 、 直 接 、 サ ー ビ ス 提 供 状 況 を 確 認 ・ 指 導	そ の 他	特 に 行 っ て い な い	無 回 答
サ ー ビ ス 種 別	訪問系サービス	39 100.0%	3 7.7	4 10.3	16 41.0	13 33.3	4 10.3	0 0.0	0 0.0	14 35.9
	日中活動系サービス	45 100.0%	14 31.1	4 8.9	20 44.4	12 26.7	6 13.3	0 0.0	0 0.0	14 31.1
	居住系サービス	12 100.0%	6 50.0	1 8.3	8 66.7	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	2 16.7
	相談支援	17 100.0%	4 23.5	1 5.9	8 47.1	8 47.1	3 17.6	0 0.0	0 0.0	5 29.4
	障害児通所支援	35 100.0%	5 14.3	3 8.6	2 5.7	17 48.6	2 5.7	0 0.0	0 0.0	15 42.9
	障害児相談支援	7 100.0%	3 42.9	1 14.3	3 42.9	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3
	移動支援	29 100.0%	3 10.3	2 6.9	12 41.4	9 31.0	3 10.3	0 0.0	0 0.0	9 31.0

<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



問12. 貴事業所が、障害福祉サービス等の質の向上を図っていく上で、今後、支援を拡充したいと思う分野はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

事業所が、今後支援を拡充したいと思う分野について、令和4年調査全体では「知的障害の人への支援」が45.6%と最も高く、次いで「発達障害の人への支援」が43.4%、「身体障害の人への支援」が38.2%となっています。

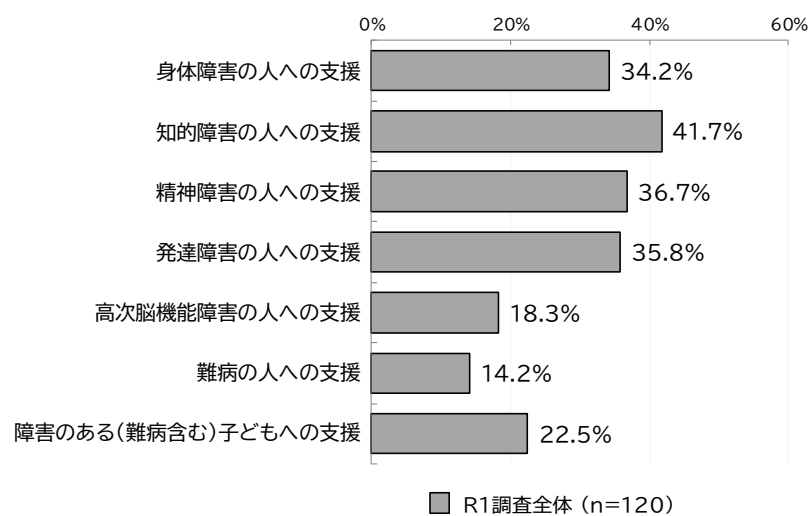


サービス種別ごとにみると、「身体障害の人への支援」が移動支援で75.9%、訪問系サービスで71.8%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、障害児相談支援で「発達障害の人への支援」が71.4%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

経営主体ごとにみると、社会福祉法人で「知的障害の人への支援」が68.4%、「精神障害の人への支援」が50.0%と他の経営主体と比較して高くなっています。また、株式会社、有限会社で「身体障害の人への支援」が55.2%と他の経営主体と比較して高くなっています。

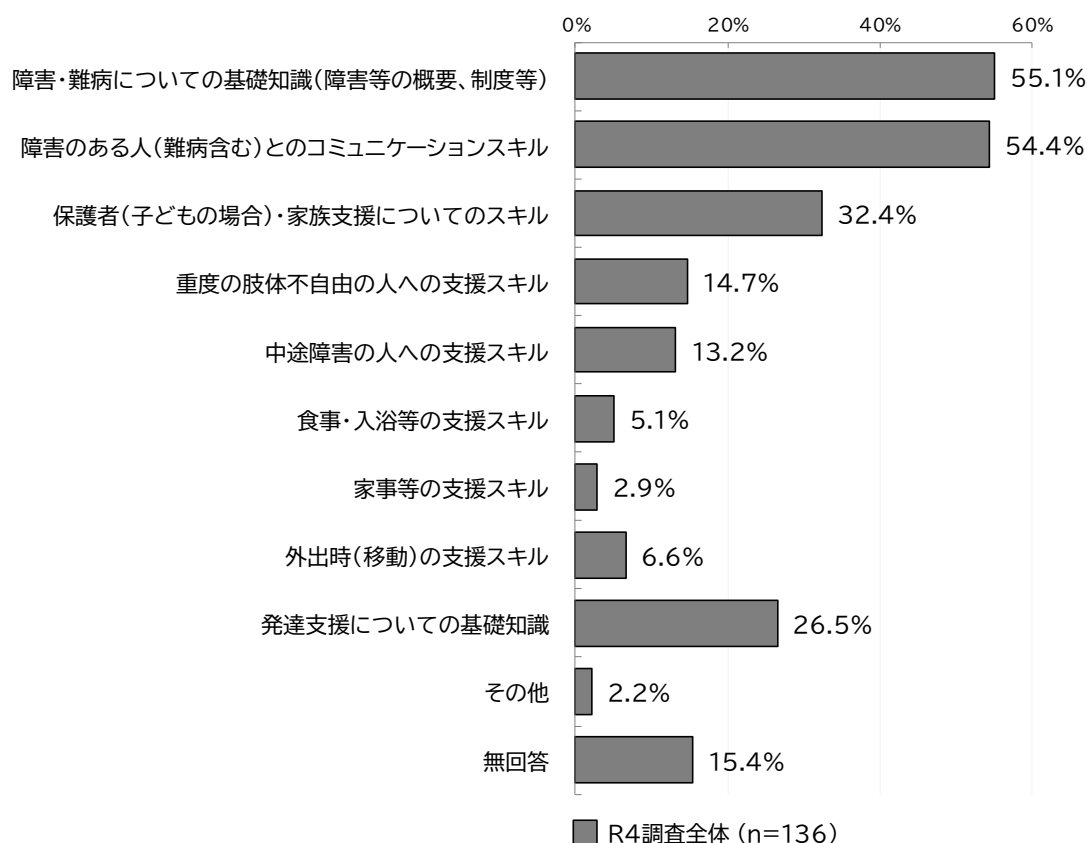
1段目 所 2段目 %	合計	問12.拡充したいと思う支援の分野								
		身体障害の人への支援	知的障害の人への支援	精神障害の人への支援	発達障害の人への支援	の 高次脳機能障害の人への支援	難病の人への支援	む(障害のある)子どもへの(難病)支援	無回答	
サービス種別	訪問系サービス	39 100.0%	28 71.8	11 28.2	8 20.5	10 25.6	2 5.1	10 25.6	7 17.9	3 7.7
	日中活動系サービス	45 100.0%	19 42.2	25 55.6	21 46.7	23 51.1	13 28.9	9 20.0	3 6.7	3 6.7
	居住系サービス	12 100.0%	2 16.7	7 58.3	5 41.7	5 41.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3
	相談支援	17 100.0%	9 52.9	11 64.7	5 29.4	8 47.1	3 17.6	2 11.8	2 11.8	0 0.0
	障害児通所支援	35 100.0%	3 8.6	15 42.9	5 14.3	18 51.4	2 5.7	0 0.0	16 45.7	9 25.7
	障害児相談支援	7 100.0%	3 42.9	4 57.1	0 0.0	5 71.4	0 0.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0
	移動支援	29 100.0%	22 75.9	10 34.5	8 27.6	9 31.0	2 6.9	7 24.1	6 20.7	1 3.4
経営主体	社会福祉法人	38 100.0%	15 39.5	26 68.4	19 50.0	18 47.4	10 26.3	4 10.5	2 5.3	1 2.6
	一般社団法人・ 一般財団法人	6 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	3 50.0
	特定非営利活動 法人(NPO法人)	27 100.0%	5 18.5	10 37.0	7 25.9	9 33.3	2 7.4	1 3.7	7 25.9	5 18.5
	株式会社、有限会社	58 100.0%	32 55.2	22 37.9	16 27.6	25 43.1	7 12.1	13 22.4	14 24.1	5 8.6
	合名会社、合資会社、 合同会社	5 100.0%	0 0.0	3 60.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0

<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



問13. 貴事業所が、障害福祉サービス等の質の向上を図っていく上で、今後、知識やスキルを拡充したいと思う分野について、該当するものに○をつけてください。(○は3つまで)

事業所が、今後知識やスキルを拡充したいと思う分野について、令和4年調査全体では「障害・難病についての基礎知識(障害等の概要、制度等)」が55.1%と最も高く、次いで「障害のある人(難病含む)とのコミュニケーションスキル」が54.4%、「保護者(子どもの場合)・家族支援についてのスキル」が32.4%となっています。

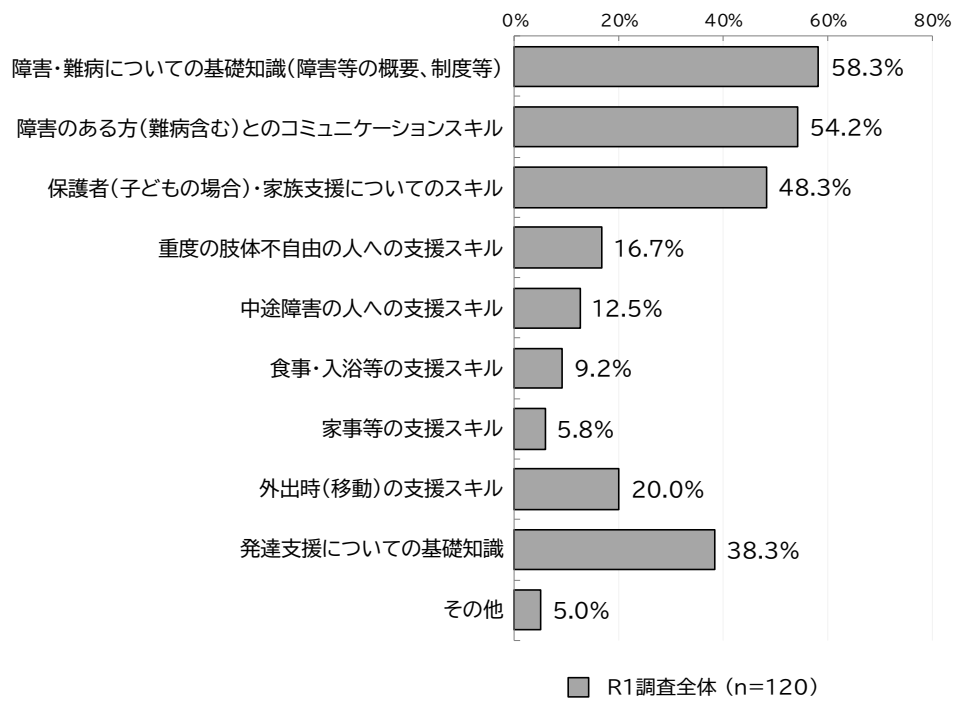


サービス種別ごとにみると、居住系サービスで「障害・難病についての基礎知識(障害等の概要、制度等)」が75.0%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、障害児通所支援で「発達支援についての基礎知識」が57.1%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

1段目 所 2段目 %	合計	問13.拡充したいと思う知識やスキルの分野											
		(障害・難病についての概要、制度等)	障害のある人(難病含む)とのコミュニケーションスキル	保護者(子どもの場合)・家族支援についてのスキル	重度の肢体不自由の人への支援スキル	中途障害の人への支援スキル	食事・入浴等の支援スキル	家事等の支援スキル	外出時(移動)の支援スキル	発達支援についての基礎知識	その他	無回答	
サービス種別	訪問系サービス	39 100.0%	23 59.0	21 53.8	6 15.4	11 28.2	6 15.4	2 5.1	1 2.6	3 7.7	3 7.7	1 2.6	6 15.4
	日中活動系サービス	45 100.0%	26 57.8	25 55.6	9 20.0	5 11.1	9 20.0	2 4.4	1 2.2	2 4.4	9 20.0	0 0.0	9 20.0
	居住系サービス	12 100.0%	9 75.0	8 66.7	4 33.3	2 16.7	0 0.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	3 25.0	0 0.0	0 0.0
	相談支援	17 100.0%	10 58.8	8 47.1	9 52.9	4 23.5	3 17.6	2 11.8	0 0.0	1 5.9	2 11.8	2 11.8	1 5.9
	障害児通所支援	35 100.0%	14 40.0	18 51.4	21 60.0	3 8.6	1 2.9	1 2.9	0 0.0	2 5.7	20 57.1	1 2.9	6 17.1
	障害児相談支援	7 100.0%	4 57.1	3 42.9	5 71.4	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0
	移動支援	29 100.0%	16 55.2	18 62.1	6 20.7	9 31.0	5 17.2	1 3.4	1 3.4	3 10.3	2 6.9	1 3.4	3 10.3



<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>

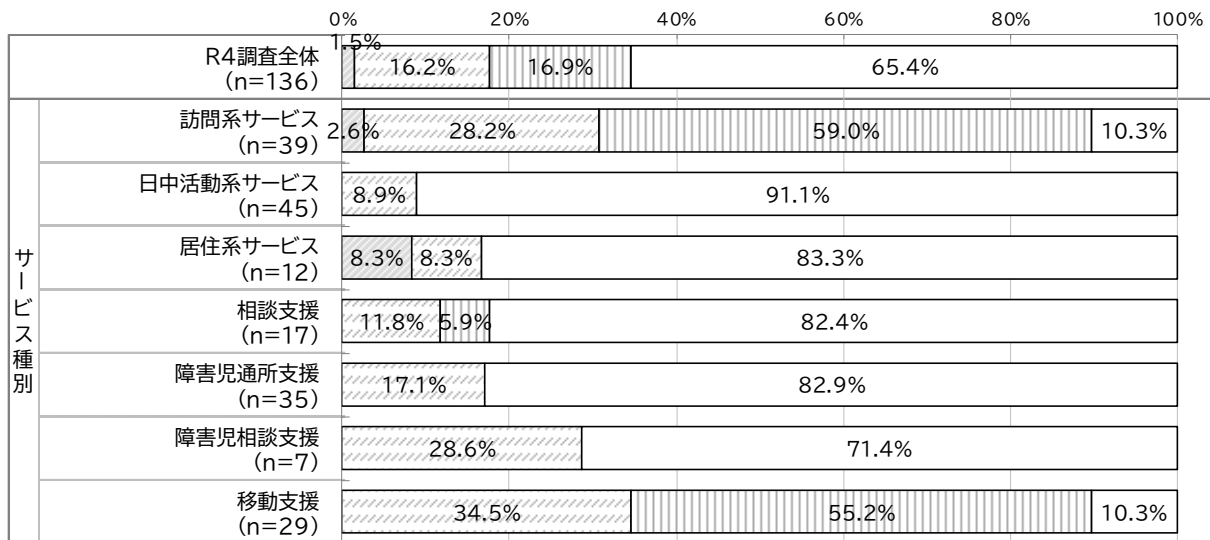


### 3 事業所運営について

問14. 介護保険サービスの指定を受けている事業所におたずねします。貴事業所の提供する「障害福祉サービス」ないし「介護保険サービス」について、力の入れ方でもっとも近いものはどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

事業所の提供するサービスの力の入れ方について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「どちらかという、介護保険サービスの方が主である」が16.9%、「どちらかという、障害福祉サービスの方が主である」が16.2%、「両方のサービスとも主である」が1.5%となっています。

サービス種別ごとにみると、「どちらかという、介護保険サービスの方が主である」が訪問系サービスで59.0%、移動支援で55.2%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

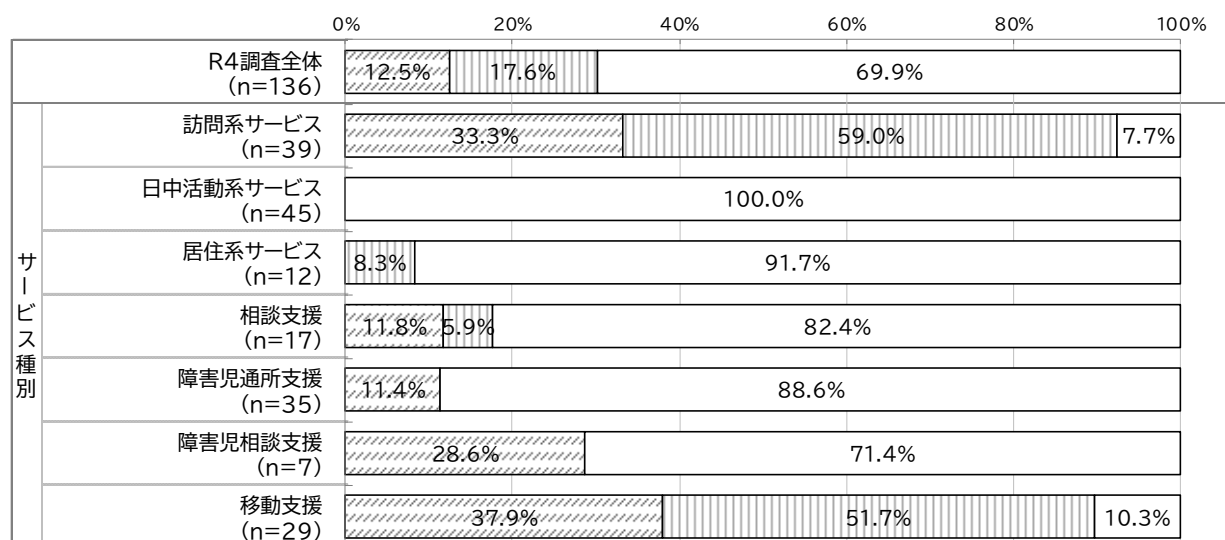


- 両方のサービスとも主である
- どちらかという、障害福祉サービスの方が主である
- どちらかという、介護保険サービスの方が主である
- 無回答

問15. 介護保険サービスの指定を受けている事業所におたずねします。貴事業所の収入(売り上げベース)で見た場合、障害福祉サービスと介護保険サービスの割合について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

事業所の提供するサービスの収入(売り上げベース)の割合について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「介護保険サービスの収入の方が大きい」が17.6%、「障害福祉サービスの収入の方が大きい」が12.5%となっています。

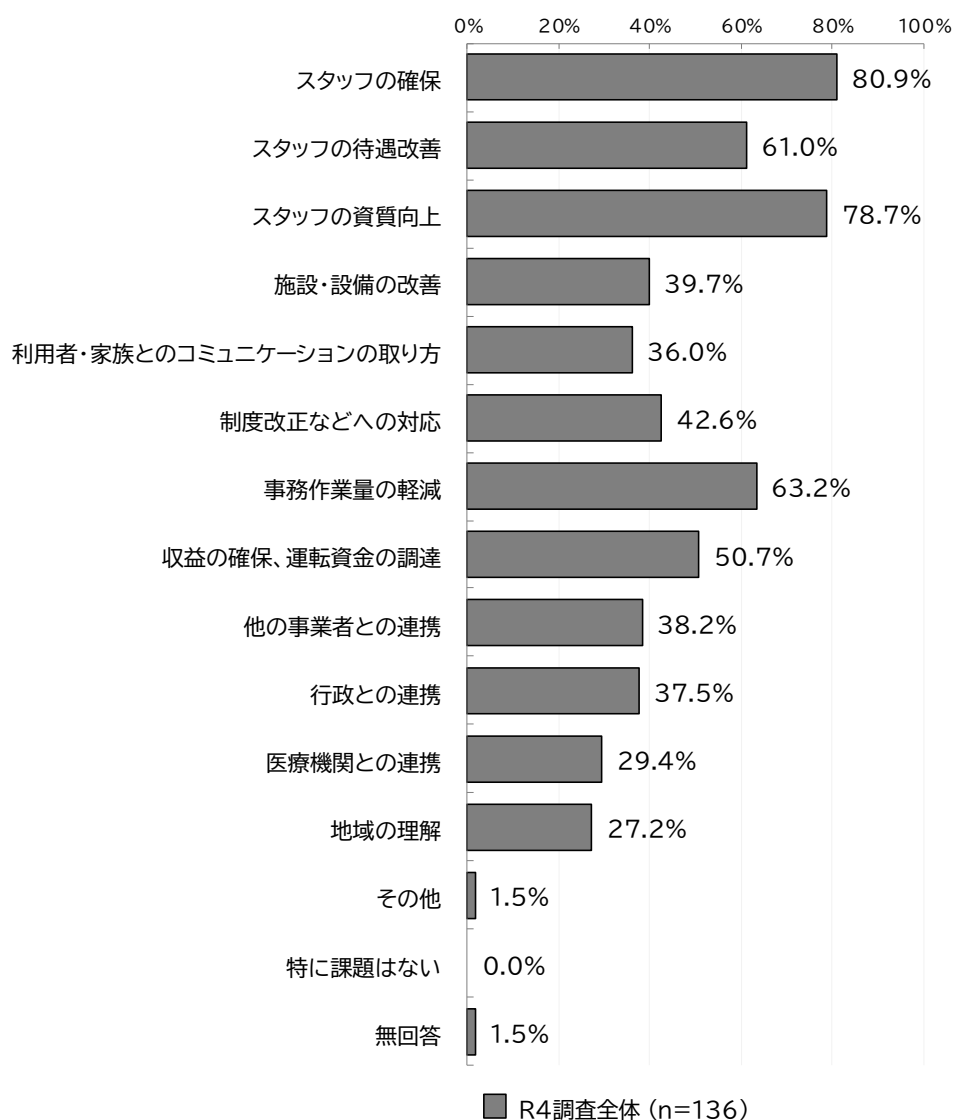
サービス種別ごとにみると、「介護保険サービスの収入の方が大きい」が訪問系サービスで59.0%、移動支援で51.7%と他のサービス種別と比較して高くなっています。



- 両方のサービスとも同じくらいの収入である
- 障害福祉サービスの収入の方が大きい
- 介護保険サービスの収入の方が大きい
- 無回答

問16. 貴事業所を経営していく上での課題について、該当するものすべてに○をつけてください。

事業所を経営していく上での課題について、令和4年調査全体では「スタッフの確保」が80.9%と最も高く、次いで「スタッフの資質向上」が78.7%、「事務作業量の軽減」が63.2%となっています。

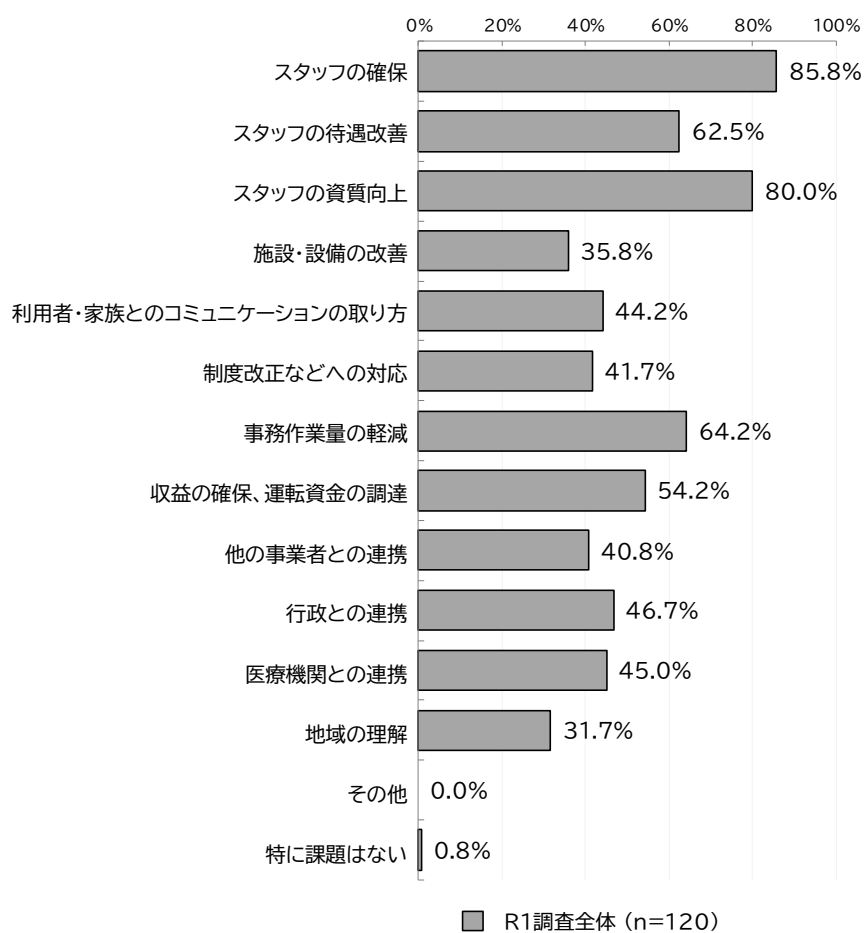


サービス種別ごとにみると、「施設・設備の改善」が障害児通所支援で60.0%、日中活動系サービスで55.6%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、相談支援で「行政との連携」が64.7%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

経営主体ごとにみると、社会福祉法人で「行政との連携」が50.0%、「他の事業者との連携」が47.4%と他の経営主体と比較して高くなっています。

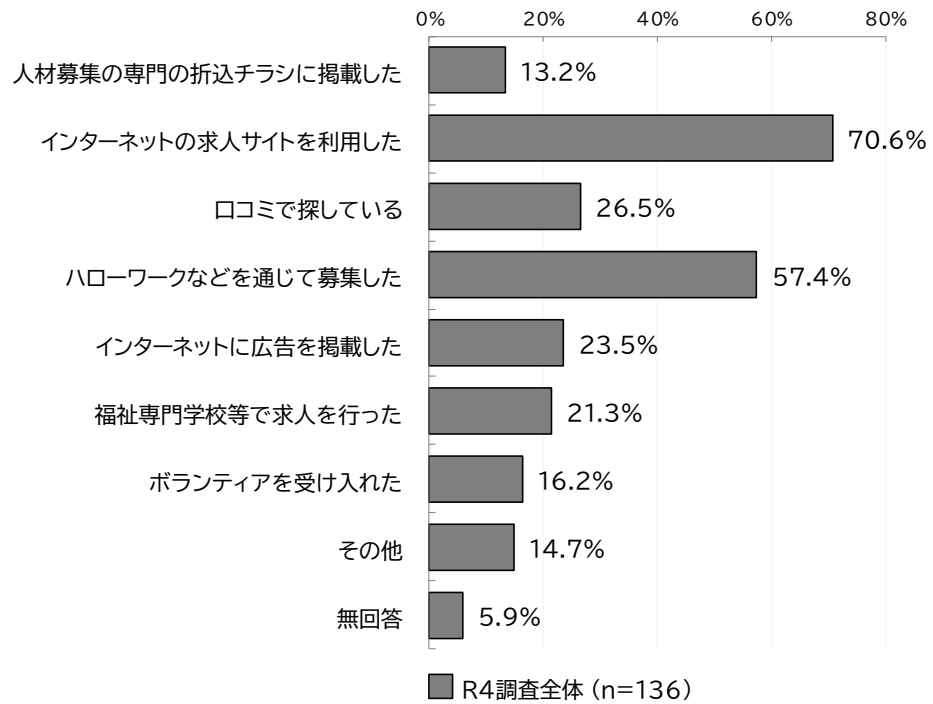
1段目 所 2段目 %	合計	問16.事業所を運営していく上での課題															
		スタッフの確保	スタッフの待遇改善	スタッフの資質向上	施設・設備の改善	利用者・家族とのコミュニケーションの取り方	制度改正などへの対応	事務作業量の軽減	収益の確保、運転資金の調達	他の事業者との連携	行政との連携	医療機関との連携	地域の理解	その他	特に課題はない	無回答	
サービス種別	訪問系サービス	39 100.0%	36 92.3	25 64.1	27 69.2	3 7.7	15 38.5	13 33.3	26 66.7	22 56.4	13 33.3	13 33.3	10 25.6	5 12.8	1 2.6	0 0.0	0 0.0
	日中活動系サービス	45 100.0%	31 68.9	23 51.1	36 80.0	25 55.6	19 42.2	20 44.4	24 53.3	20 44.4	18 40.0	18 40.0	17 37.8	13 28.9	1 2.2	0 0.0	1 2.2
	居住系サービス	12 100.0%	11 91.7	7 58.3	9 75.0	5 41.7	5 41.7	7 58.3	8 66.7	7 58.3	7 58.3	6 50.0	7 58.3	5 41.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	相談支援	17 100.0%	14 82.4	8 47.1	13 76.5	5 29.4	5 29.4	8 47.1	9 52.9	7 41.2	7 41.2	11 64.7	5 29.4	4 23.5	1 5.9	0 0.0	0 0.0
	障害児通所支援	35 100.0%	28 80.0	24 68.6	30 85.7	21 60.0	10 28.6	18 51.4	24 68.6	18 51.4	14 40.0	12 34.3	8 22.9	12 34.3	0 0.0	0 0.0	1 2.9
	障害児相談支援	7 100.0%	7 100.0	4 57.1	6 85.7	2 28.6	1 14.3	3 42.9	5 71.4	3 42.9	3 42.9	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	移動支援	29 100.0%	28 96.6	18 62.1	18 62.1	2 6.9	10 34.5	11 37.9	21 72.4	18 62.1	10 34.5	10 34.5	7 24.1	4 13.8	1 3.4	0 0.0	0 0.0
経営主体	社会福祉法人	38 100.0%	31 81.6	22 57.9	30 78.9	20 52.6	14 36.8	19 50.0	27 71.1	16 42.1	18 47.4	19 50.0	15 39.5	15 39.5	2 5.1	0 0.0	0 0.0
	一般社団法人・一般財団法人	6 100.0%	4 66.7	5 83.3	6 100.0	6 100.0	1 16.7	3 50.0	5 83.3	4 66.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	特定非営利活動法人(NPO法人)	27 100.0%	19 70.4	14 51.9	19 70.4	13 48.1	7 25.9	10 37.0	17 63.0	13 48.1	9 33.3	8 29.6	6 22.2	4 14.8	0 0.0	0 0.0	1 3.7
	株式会社、有限会社	58 100.0%	50 86.2	39 67.2	46 79.3	14 24.1	26 44.8	22 37.9	33 56.9	33 56.9	21 36.2	21 36.2	17 29.3	16 27.6	1 1.7	0 0.0	1 1.7
	合名会社、合資会社、合同会社	5 100.0%	4 80.0	2 40.0	5 100.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



問17. 貴事業所では、人材を確保するために、どのようなことに取り組んでいますか。該当するものすべてに○をつけてください。

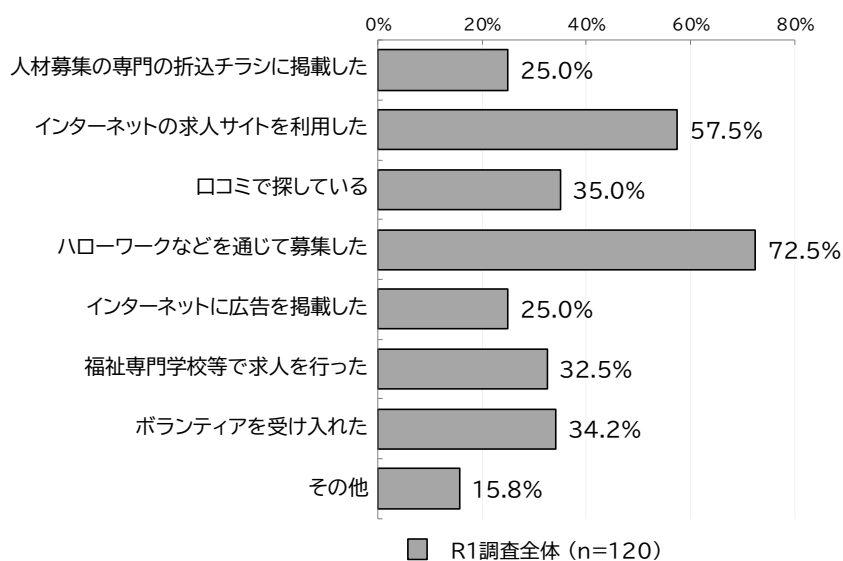
事業所で、人材確保のために取り組んでいることについて、令和4年調査全体では「インターネットの求人サイトを利用した」が70.6%と最も高く、次いで「ハローワークなどを通じて募集した」が57.4%、「口コミで探している」が26.5%となっています。



サービス種別ごとに見ると、訪問系サービスで「ハローワークなどを通じて募集した」が74.4%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、障害児通所支援で「ボランティアを受け入れた」が28.6%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

1段目 所 2段目 %	合計	問17.人材確保のために取り組んでいること									
		人材募集の専門の折込チラシに掲載した	インターネットの求人サイトを利用した	口コミで探している	ハローワークなどを通じて募集した	インターネットに広告を掲載した	福祉専門学校等で求人を行った	ボランティアを受け入れた	その他	無回答	
訪問系サービス	39 100.0%	8 20.5	27 69.2	18 46.2	29 74.4	16 41.0	6 15.4	2 5.1	5 12.8	2 5.1	
日中活動系サービス	45 100.0%	4 8.9	33 73.3	6 13.3	27 60.0	3 6.7	12 26.7	10 22.2	8 17.8	3 6.7	
居住系サービス	12 100.0%	2 16.7	7 58.3	3 25.0	6 50.0	0 0.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	
相談支援	17 100.0%	0 0.0	10 58.8	4 23.5	7 41.2	3 17.6	4 23.5	1 5.9	4 23.5	1 5.9	
障害児通所支援	35 100.0%	3 8.6	27 77.1	7 20.0	15 42.9	13 37.1	7 20.0	10 28.6	6 17.1	1 2.9	
障害児相談支援	7 100.0%	0 0.0	3 42.9	3 42.9	4 57.1	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	0 0.0	
移動支援	29 100.0%	6 20.7	19 65.5	13 44.8	20 69.0	11 37.9	2 6.9	0 0.0	5 17.2	2 6.9	

### <参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



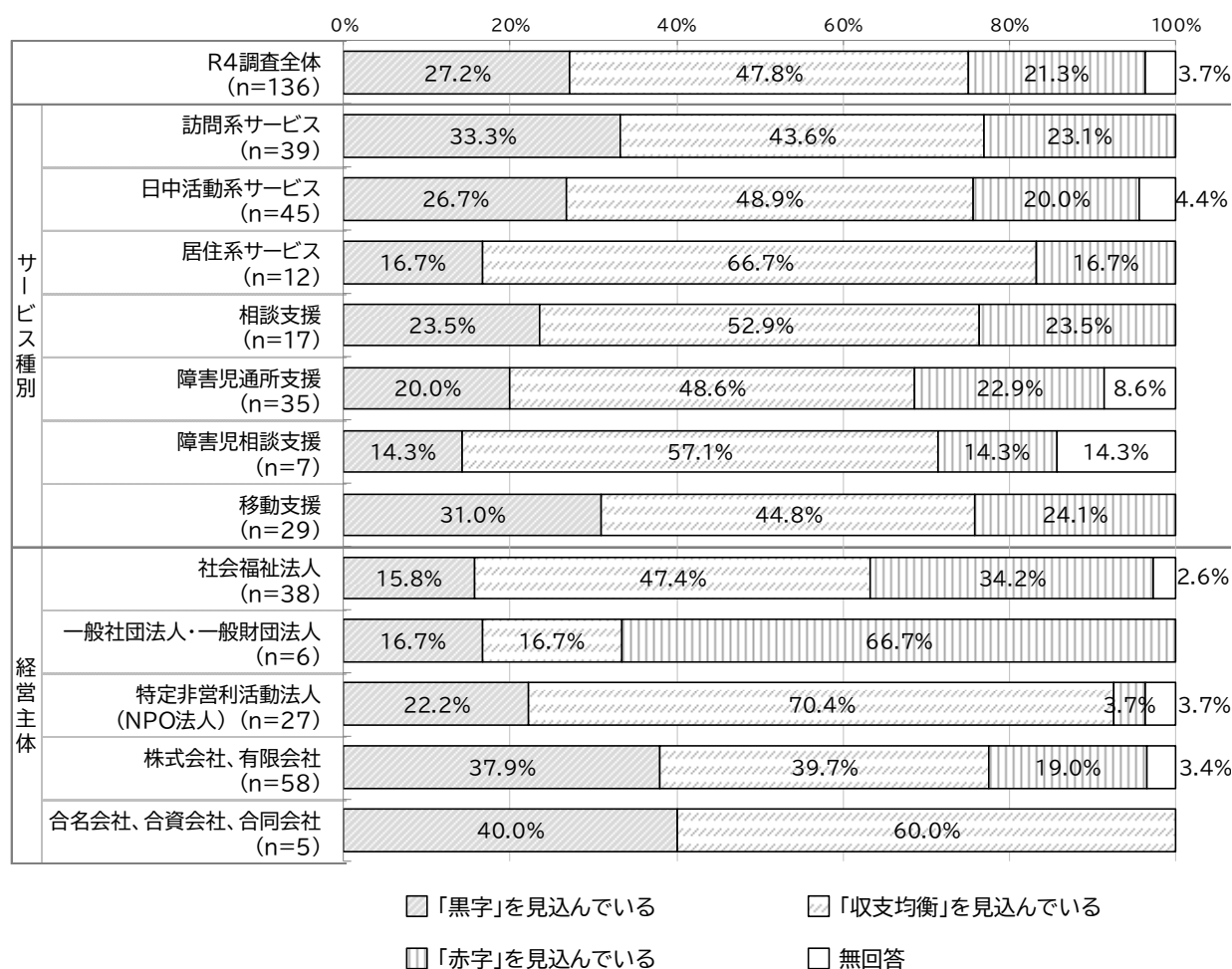


問18. 貴事業所の今年度の収支状況(見込み)について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

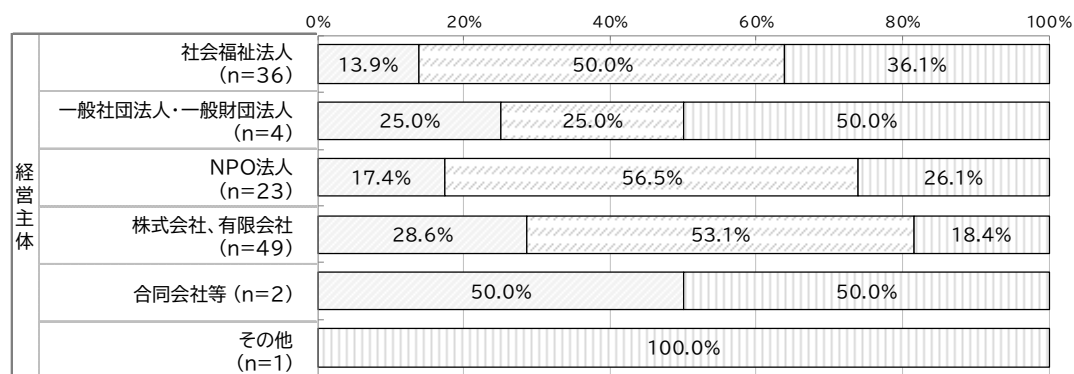
事業所の今年度の収支状況(見込み)について、令和4年調査全体では「収支均衡」を見込んでいるが47.8%、「黒字」を見込んでいるが27.2%、「赤字」を見込んでいるが21.3%となっています。

サービス種別ごとにみると、居住系サービスで「収支均衡」を見込んでいるが66.7%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

経営主体ごとにみると、特定非営利活動法人(NPO法人)で「収支均衡」を見込んでいるが70.4%と他の経営主体と比較して高くなっています。また、一般社団法人・一般財団法人で「赤字」を見込んでいるが66.7%と他の経営主体と比較して高くなっています。



<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



「黒字」を見込んでいる

「収支均衡」を見込んでいる

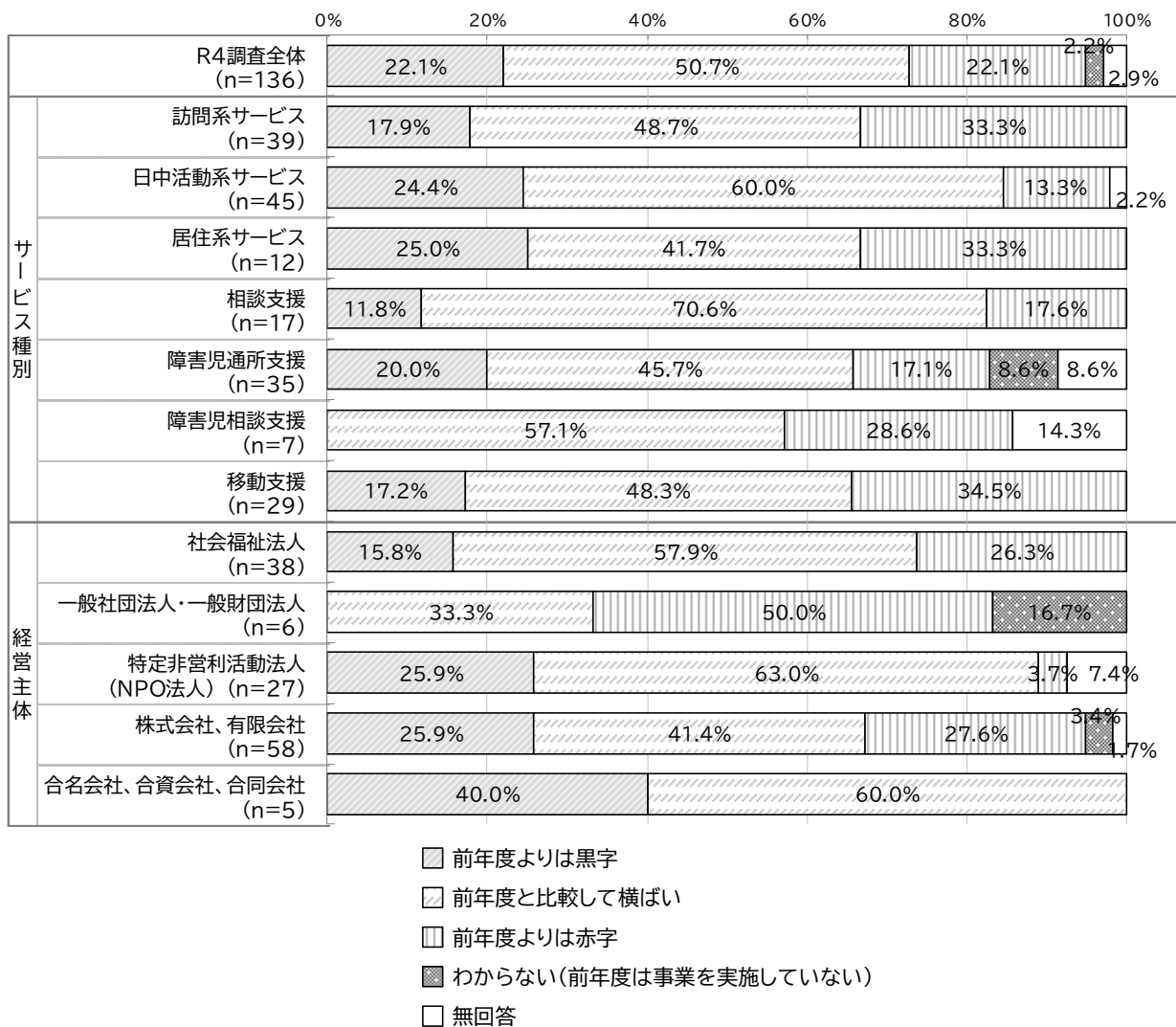
「赤字」を見込んでいる

問19. 貴事業所の今年度の収支状況と、昨年同時期の収支状況を比較して、あてはまるもの1つに○をつけてください。

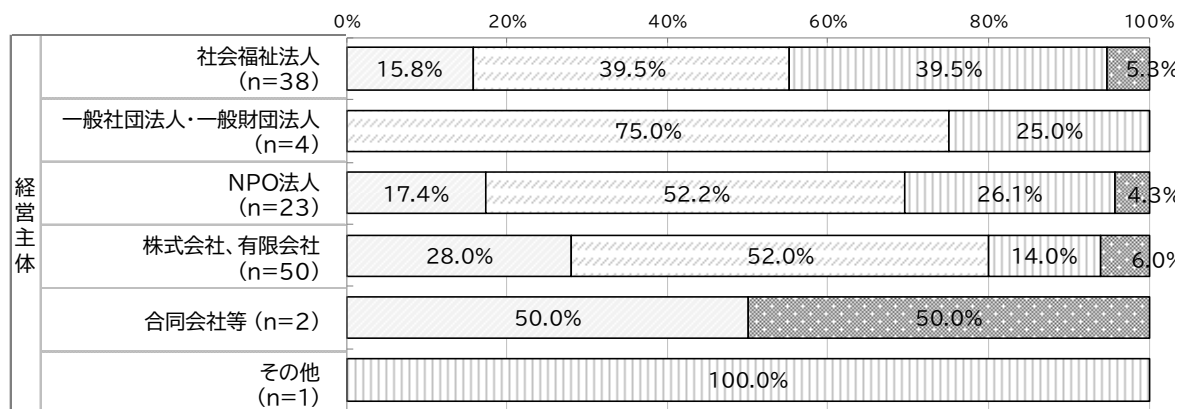
事業所の今年度と昨年同時期の収支状況の比較について、令和4年調査全体では「前年度と比較して横ばい」が50.7%と最も高く、次いで「前年度よりは黒字」「前年度よりは赤字」が同率で22.1%となっています。

サービス種別ごとにみると、相談支援で「前年度と比較して横ばい」が70.6%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

経営主体ごとにみると、一般社団法人・一般財団法人で「前年度よりは赤字」が50.0%と他の経営主体と比較して高くなっています。



<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



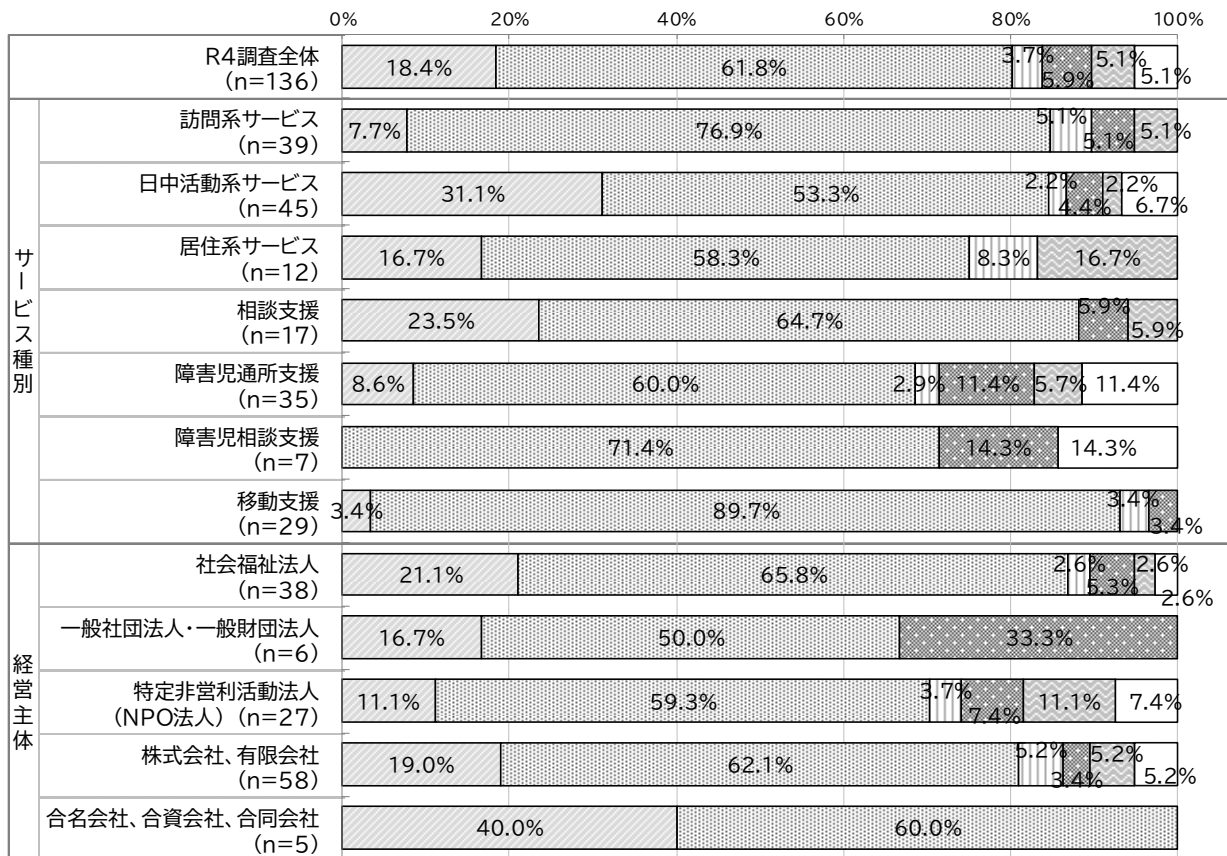
- 前年度よりは黒字
- 前年度と比較して横ばい
- 前年度よりは赤字
- わからない(前年度は事業を実施していない)

問20. 貴事業所の収支の向上や改善についてのお考えにもっとも近いもの1つに○をつけてください。

事業所の収支向上や改善に対する考えについて、令和4年調査全体では「現在の事業体制を維持しつつ、業務効率化等を図っていく」が61.8%と最も高く、次いで「現在の事業の拡大もしくは新規事業展開を図っていく」が18.4%、「その他」が5.9%となっています。

サービス種別ごとにみると、移動支援で「現在の事業体制を維持しつつ、業務効率化等を図っていく」が89.7%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

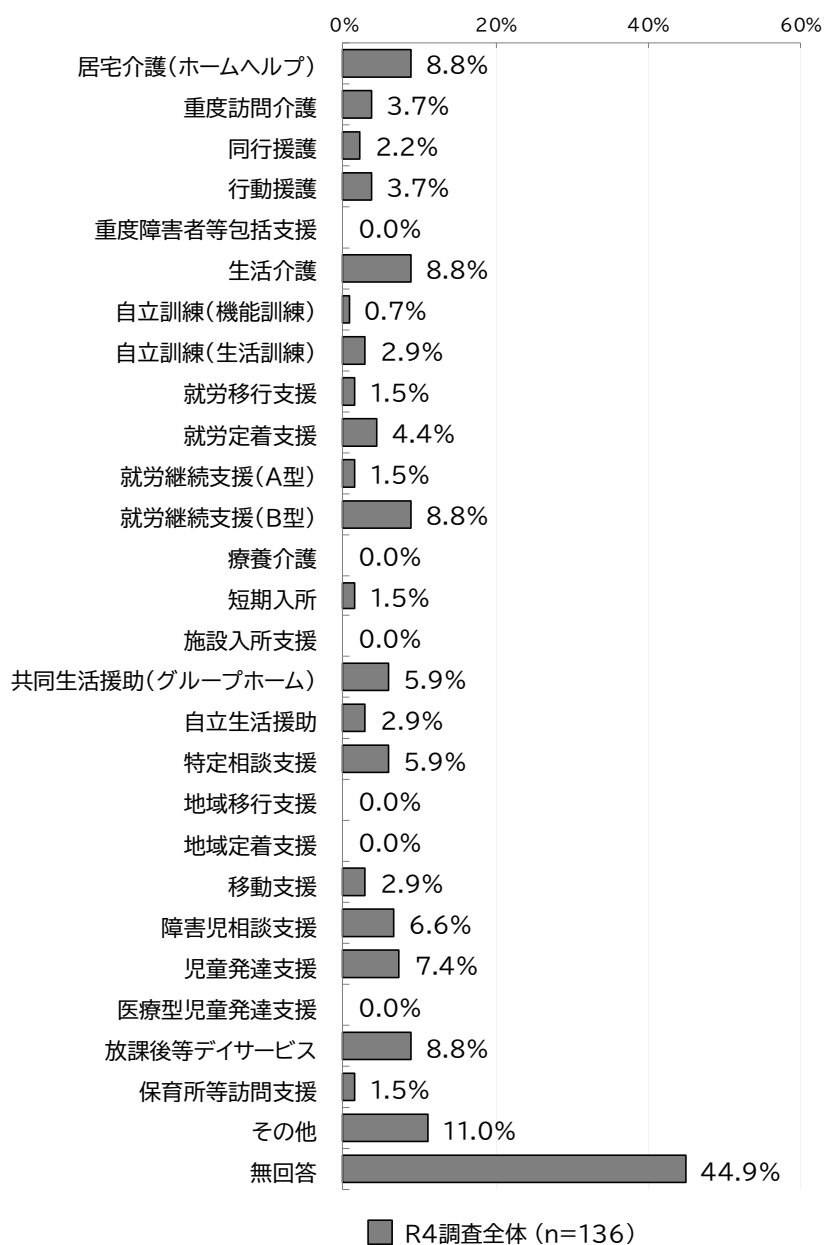
経営主体ごとにみると、一般社団法人・一般財団法人で「その他」が33.3%と合名会社、合資会社、合同会社で「現在の事業の拡大もしくは新規事業展開を図っていく」が40.0%と他の経営主体と比較して高くなっています。



- 現在の事業の拡大もしくは新規事業展開を図っていく
- 現在の事業体制を維持しつつ、業務効率化等を図っていく
- 現在の事業の縮小を図っていく
- その他
- 特に考えはない
- 無回答

問21. 次のサービスのうち、貴事業所において、今後3年間(令和7年度まで)に事業拡大または新規参入のお考えがあるものはどれですか。現段階でご検討されているものすべてに○をつけてください。

事業所が、今後3年間に事業拡大または新規参入を考えているものについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「その他」が11.0%と最も高く、次いで「居宅介護(ホームヘルプ)」「生活介護」「就労継続支援(B型)」「放課後等デイサービス」が同率で8.8%となっています。

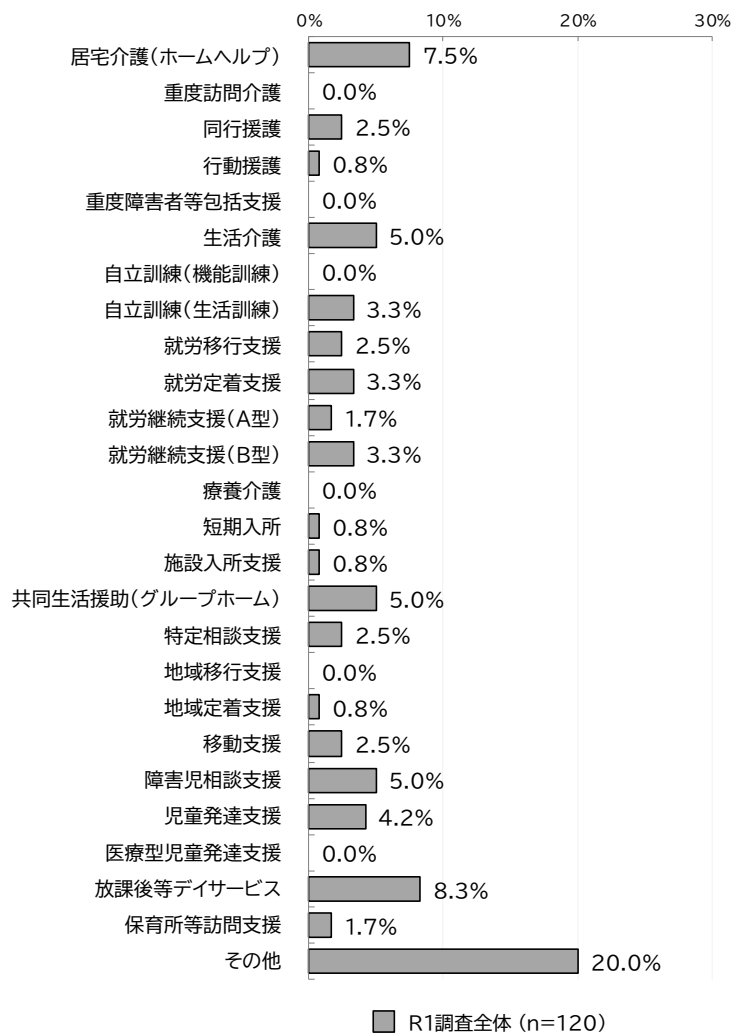


サービス種別ごとにみると、各サービス種別で最も高いのは、訪問系サービスで「居宅介護（ホームヘルプ）」が28.2%、日中活動系サービスで「就労定着支援」が13.3%、居住系サービスで「その他」が33.3%、相談支援で「特定相談支援」「その他」が同率で17.6%、障害児通所支援で「放課後等デイサービス」が31.4%、障害児相談支援で「障害児相談支援」「その他」が同率で28.6%、移動支援で「居宅介護（ホームヘルプ）」が24.1%となっています。

1段目 所 2段目 %	合計	問21.事業拡大や新規参入を検討している事業															
		居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	同行支援	行動支援	重度障害者等包括支援	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労定着支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	療養介護	短期入所		
サービス種別	訪問系サービス	39 100.0%	11 28.2	5 12.8	3 7.7	5 12.8	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	日中活動系サービス	45 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 11.1	1 2.2	3 6.7	0 0.0	6 13.3	0 0.0	5 11.1	0 0.0	0 0.0	
	居住系サービス	12 100.0%	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 8.3	
	相談支援	17 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	障害児通所支援	35 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 17.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.7	0 0.0	2 5.7	7 20.0	0 0.0	1 2.9
	障害児相談支援	7 100.0%	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	移動支援	29 100.0%	7 24.1	3 10.3	3 10.3	5 17.2	0 0.0	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

1段目 所 2段目 %	問21.事業拡大や新規参入を検討している事業														
	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	自立生活援助	特定相談支援	地域移行支援	地域定着支援	移動支援	障害児相談支援	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	その他	無回答	
サービス種別	訪問系サービス	0 0.0	1 2.6	0 0.0	3 7.7	0 0.0	0 0.0	3 7.7	1 2.6	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	8 20.5	14 35.9
	日中活動系サービス	0 0.0	2 4.4	0 0.0	2 4.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.4	25 55.6
	居住系サービス	0 0.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	4 33.3
	相談支援	0 0.0	0 0.0	2 11.8	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	3 17.6	7 41.2
	障害児通所支援	0 0.0	3 8.6	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	1 2.9	7 20.0	10 28.6	0 0.0	11 31.4	2 5.7	2 5.7	16 45.7
	障害児相談支援	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3
	移動支援	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.9	0 0.0	0 0.0	3 10.3	1 3.4	0 0.0	0 0.0	1 3.4	0 0.0	6 20.7	11 37.9

<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>

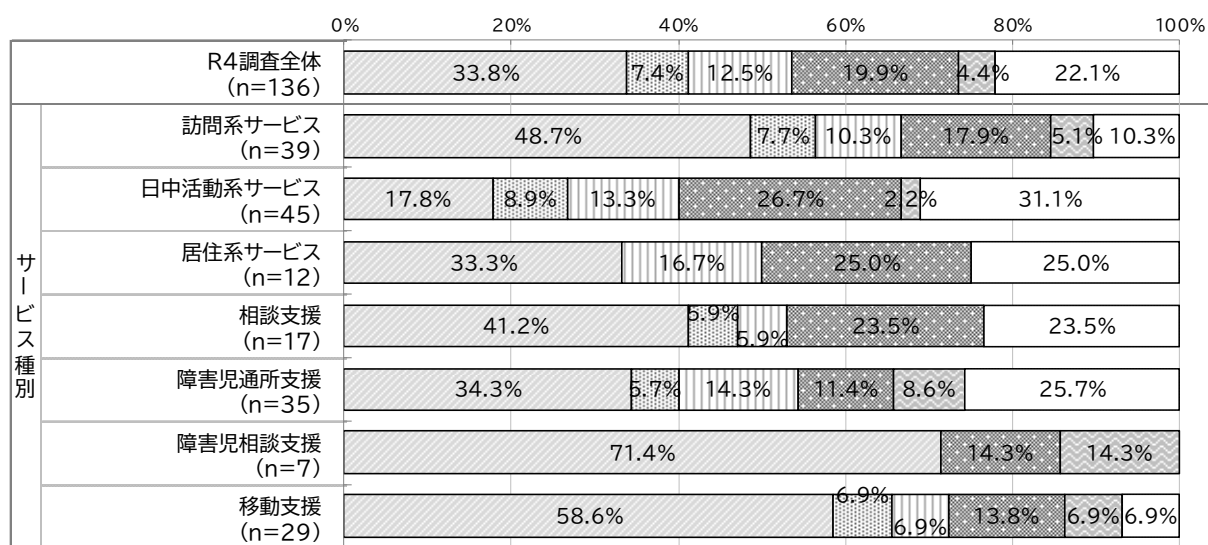




問22. 新規サービスに参入又は事業拡大する上で、課題となることは何ですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。(実際に事業の拡大・新規参入の予定がない場合でも、想定の上でお答えください。)

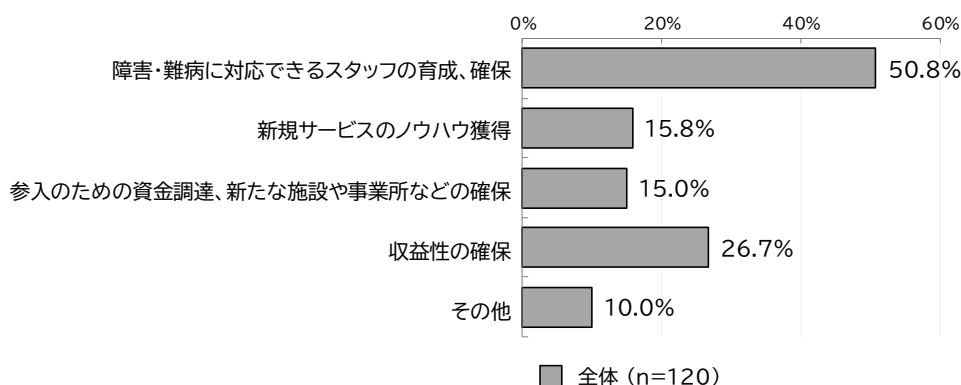
事業所が、新規参入又は事業拡大する上で課題になることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「障害・難病に対応できるスタッフの育成、確保」が33.8%と最も高く、次いで「収益性の確保」が19.9%、「参入のための資金調達、新たな施設や事業所などの確保」が12.5%となっています。

サービス種別ごとにみると、障害児相談支援で「障害・難病に対応できるスタッフの育成、確保」が71.4%と他のサービス種別と比較して高くなっています。



- 障害・難病に対応できるスタッフの育成、確保
- 新規サービスのノウハウ獲得
- 参入のための資金調達、新たな施設や事業所などの確保
- 収益性の確保
- その他
- 無回答

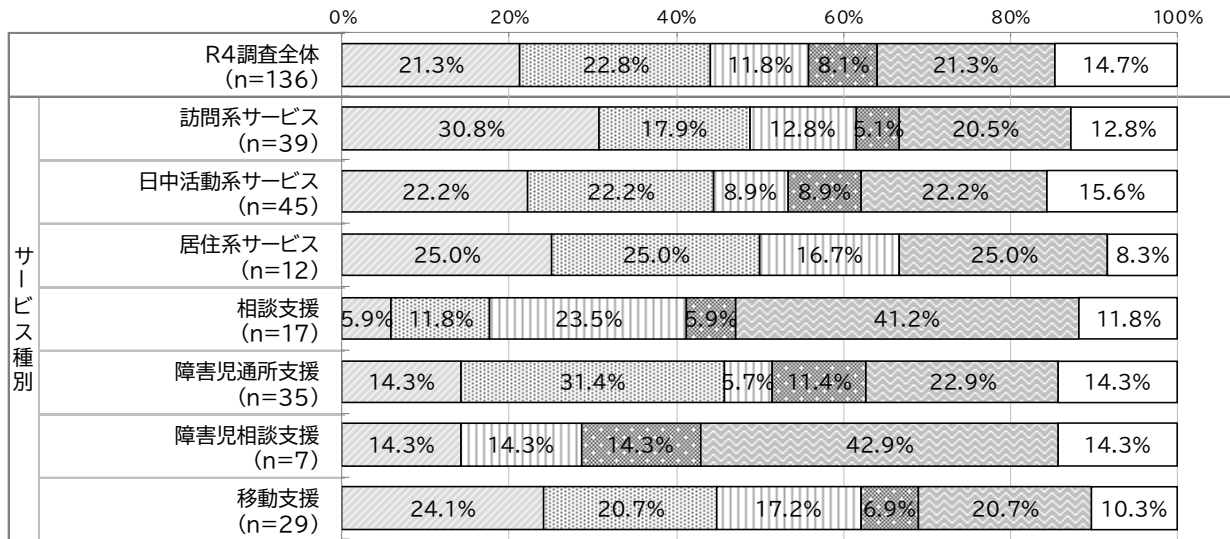
<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



問23. 障害福祉サービス等への事業者の新規参入又は事業拡大を促進するため、区としては、どのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

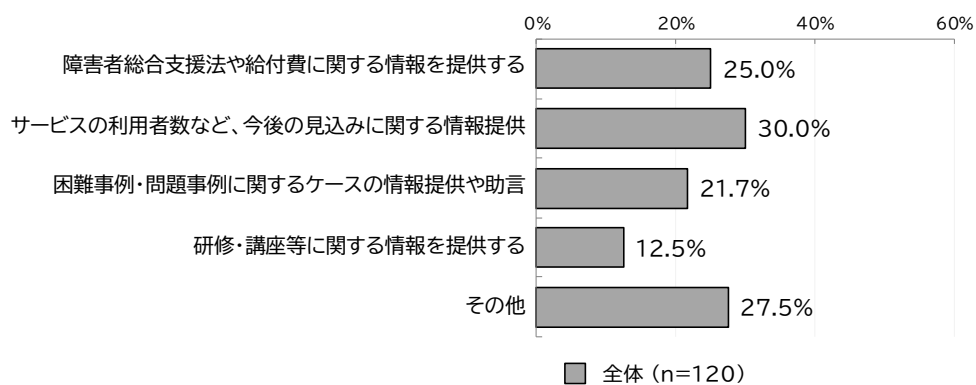
障害福祉サービス等への事業者の新規参入又は事業拡大を促進するために、区としてどのようなことに取り組んでいくことが必要かについて、令和4年調査全体では「サービスの利用者数など、今後の見込みに関する情報提供」が22.8%と最も高く、次いで「障害者総合支援法や給付費に関する情報を提供する」「その他」が同率で21.3%となっています。

サービス種別ごとにみると、障害児通所支援で「サービスの利用者数など、今後の見込みに関する情報提供」が31.4%と他のサービス種別と比較して高くなっています。また、訪問系サービスで「障害者総合支援法や給付費に関する情報を提供する」が30.8%と他のサービス種別と比較して高くなっています。



- 障害者総合支援法や給付費に関する情報を提供する
- サービスの利用者数など、今後の見込みに関する情報提供
- 困難事例・問題事例に関するケースの情報提供や助言
- 研修・講座等に関する情報を提供する
- その他
- 無回答

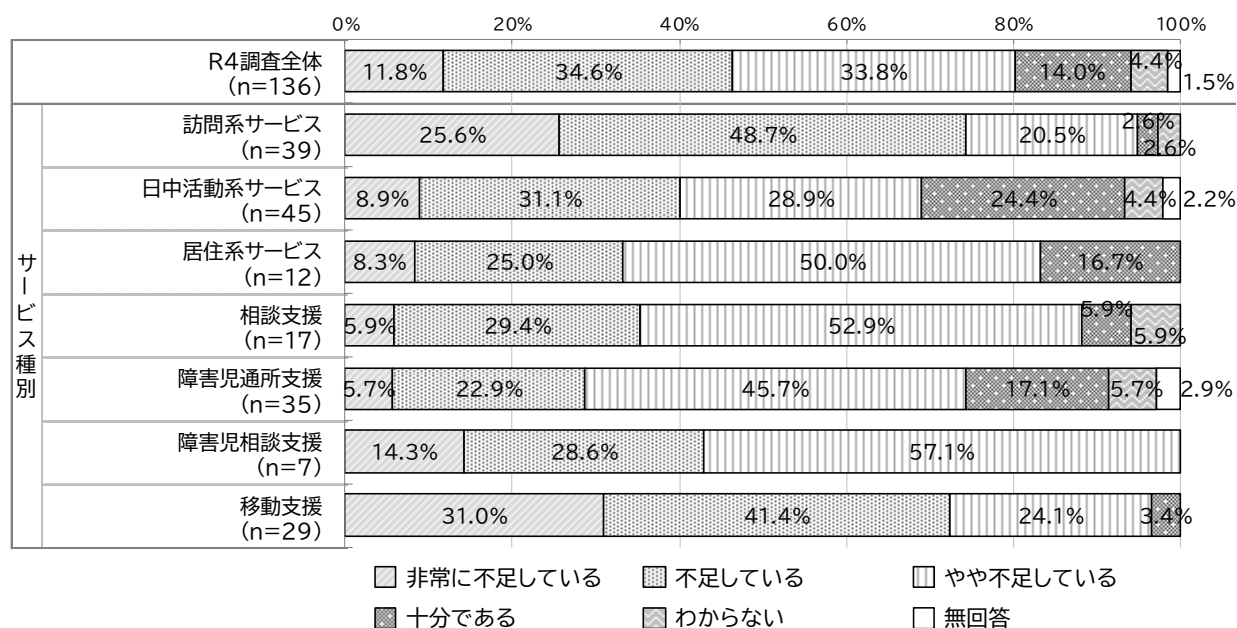
<参考 R1調査 サービス提供事業所調査>



問24. 職員数は充足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

事業所の職員数の充足状況について、令和4年調査全体では「不足している」が34.6%と最も高く、次いで「やや不足している」が33.8%、「十分である」が14.0%となっています。

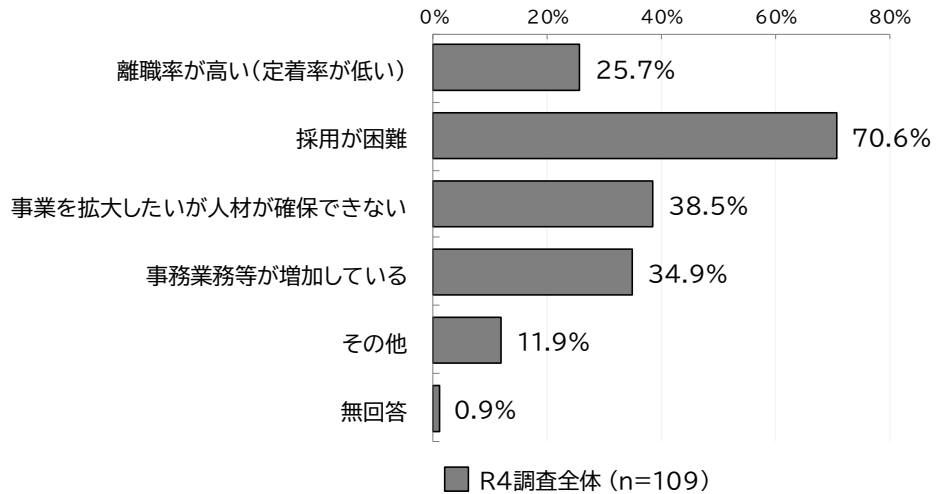
サービス種別ごとにみると、「不足している」が最も高いのは、訪問系サービスが48.7%、移動支援が41.4%、日中活動系サービスが31.1%となっています。また、「やや不足している」が最も高いのは、障害児相談支援が57.1%、相談支援が52.9%、居宅系サービスが50.0%、障害児通所支援が45.7%となっています。



問24-1. 問24で1～3に○をつけた事業所にうかがいます。

その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

職員数が不足していると回答した事業所の、その理由について、令和4年調査全体では「採用が困難」が70.6%と最も高く、次いで「事業を拡大したいが人材が確保できない」が38.5%、「事務業務等が増加している」が34.9%となっています。



サービス種別ごとにみると、訪問系サービスで「事業を拡大したいが人材が確保できない」が51.4%と他のサービス種別と比較して高くなっています。

1段目 所 2段目 %	合計	問24-1.職員数が不足している理由						
		が離職率が高い(定着率が低い)	採用が困難	事業を拡大したいが人材が確保できない	事務業務等が増加している	その他	無回答	
訪問系サービス	37 100.0%	9 24.3	27 73.0	19 51.4	11 29.7	2 5.4	0 0.0	
日中活動系サービス	31 100.0%	10 32.3	21 67.7	8 25.8	11 35.5	3 9.7	1 3.2	
居住系サービス	10 100.0%	0 0.0	5 50.0	2 20.0	5 50.0	4 40.0	0 0.0	
相談支援	15 100.0%	1 6.7	12 80.0	5 33.3	6 40.0	3 20.0	0 0.0	
障害児通所支援	26 100.0%	9 34.6	21 80.8	8 30.8	9 34.6	4 15.4	0 0.0	
障害児相談支援	7 100.0%	0 0.0	4 57.1	3 42.9	2 28.6	2 28.6	0 0.0	
移動支援	28 100.0%	4 14.3	19 67.9	12 42.9	9 32.1	2 7.1	0 0.0	